

# **食育に関する市民アンケート調査報告書**

**平成20年3月**

**千葉県松戸市**



# 目 次

1	調査の概要	1
2	調査結果の分析	7
3	調査結果の分析（歯科に関するもの）	43
4	質問と回答（単純集計結果）	55

付録 調査票



# 調査の概要

## 本調査の目的

本調査は、松戸市食育推進計画策定のための基礎資料として、松戸市食育推進委員会および松戸市民の間の共通の認識を得るために、計画され実施された。食育は、国や自治体レベルにおいても、関連する関係分野が多岐にわたり、それぞれの立場からの議論や意見が提起されることが少なくないため、一定の共通認識を得ておくことが、有効な食育推進計画の策定へ向けた必要条件となる。以上の問題意識から、今回の市民調査は発案された。

調査項目は、先行した国(内閣府が2007年3月3,000名に面接法で実施し回答率61%)と神奈川県(2007年5月から6月3,000名に郵送法で実施し回答率36.4%)による食育に関する意識調査の結果を参考にするとともに、松戸市における独自性の市民アンケート調査とするために、首都圏への通勤者が多い都市生活者としての松戸市民のライフスタイルを念頭に置いた食育意識を把握することとした。そのため、先行調査より多くの質問項目を設定している。具体的には、食育に関する意識をはじめ、歯科を含む健康への意識、食品安全性への意識、地元食材への意識、環境問題への意識、農業体験や地域の活動への意識、子供の食と生活、食育に関する施策要望など68項目の質問を設けた。

## 実施体制

松戸市と食育推進委員会メンバーである市内4大学の千葉園芸学部、聖徳大学、流通経済大学、日本大学松戸歯学部が連携して、調査票の設計を行い、千葉大学園芸学部が基幹となり実施した。今回の調査は、市内の4大学が共通するテーマで地域連携を具体化して実施した初めてケースであり、市町村レベルで、食育に関して地域内の大学が連携した例は、全国的にも多くはないと考える。つまり、食育を契機にして地域連携が実現した点も今回の調査の意義といえる。

## 実施方法

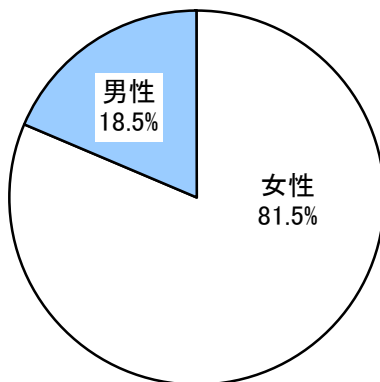
住民基本台帳から無作為に抽出した20歳以上の3,000人に対して調査票の送付と回収を郵送で行う郵送法で実施した。回答者としては、普段食材を購入し、調理を担当する方を対象とした。実施期間は、2007年10月18日から10月31日である。回収数は、1,262名分で回収率42.1%であった。市レベルで3,000名を対象とした今回の調査の精度は、同数の3000名を対象に実施された国と神奈川県の調査と比べて、調査の精度は格段に高いものとする。

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不詳	合計
配布数	843	817	469	472	399		3,000
回収数	171	291	226	314	252	8	1,262
回収率	20.3%	35.6%	48.2%	66.5%	63.2%		42.1%

## 集計結果

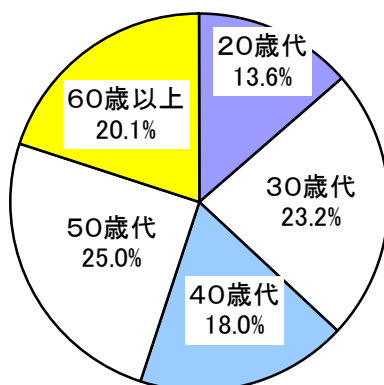
回答者のプロフィール（属性）

問40 回答者の性別（n=1,257）



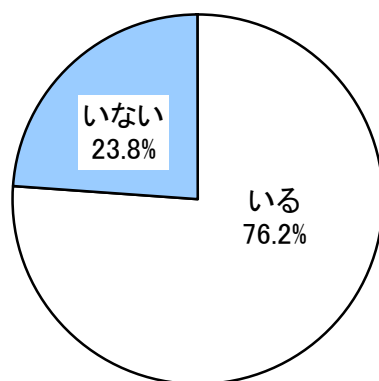
回答者の性別は、調査票の食材購入・調理担当者という狙いから、女性 81.5%に対して男性 18.5%と女性が大半を占めた。

問41 回答者の年齢（n=1,254）



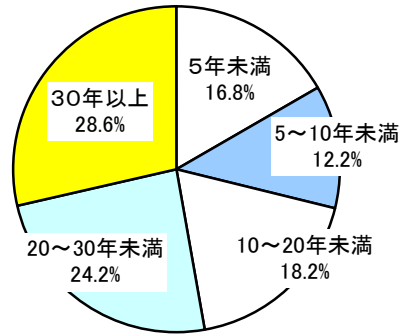
年齢は、50歳以上が 45.1%、それ未満が 54.8%で、20歳代は 13.6%とやや割合が低いものの、世代間での極端な偏りはない。

問42 配偶者の有無（n=1,255）



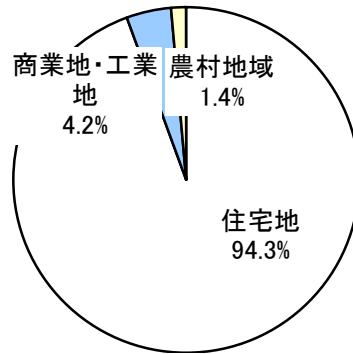
配偶者の有無については、4分の3が配偶者を有している。

問43 居住年数 (n=1,257)



松戸市での居住年数は、7割が10年以上居住で、20年以上も半数を超えており(53.8%)、居住年数は総じて長い。

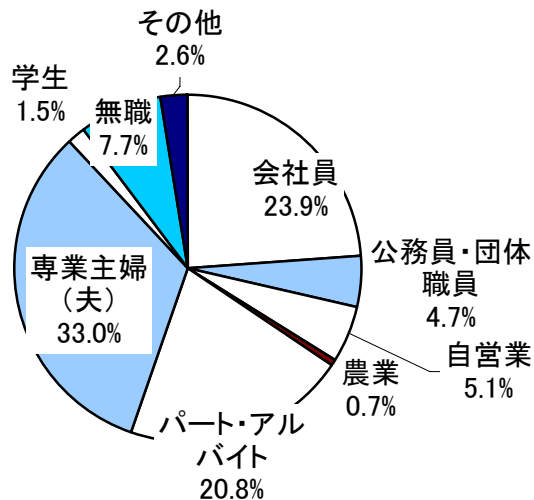
問44 居住地域 (n=1,248)



居住地区は、住宅地域がほとんどを占めている。

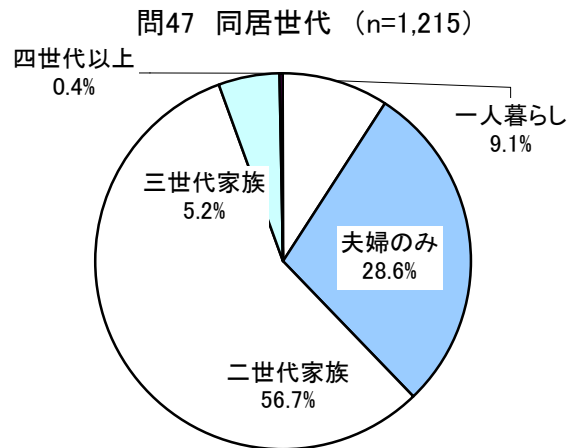
職業についてみると、回答者に女性が多いことから専業主婦(夫)が3分の1を占め、ついで会社員(23.9%)、パート・アルバイト(20.8%)の順で、この3種で全体の8割近くを占めている。

問45 職業 (n=1,253)





同居世代数では、都市の標準的な核家族の形態である2世代家族が、6割近くを占めている（56.7%）。次いで夫婦のみ（28.6%）、一人暮らし（9.1%）の順で、3世代以上の家族は5%程度と例外的といえる。



回答者と配偶者の家を出る時間と帰宅時間についてみると（問33）、配偶者の方が、早く家を出て、遅く帰宅している。これは、回答者が女性であるため、配偶者に男性が多いためと考えられる。バラつきの大きい帰宅時間について、世代別と性別でそれぞれ平均値を算出すると、40歳未満の世代と男性は、帰宅までの時間が、回答者・配偶者いずれも長い傾向がある。これは、都市近郊住宅地域から都心への通勤を行う市民の多いことが一因と考えられる。

家を出る時間と帰宅時間(平均)			帰宅時間(平均)		
回答者	家を出る時間	8:20	区 分	回答者	配偶者
	帰宅時間	18:52		40歳未満	19:30
配偶者	家を出る時間	7:40	40歳以上	18:23	19:44
	帰宅時間	20:07	統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***	***
			女 性	18:20	18:04
			男 性	20:15	20:20
			統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***	***



## 調査結果の分析

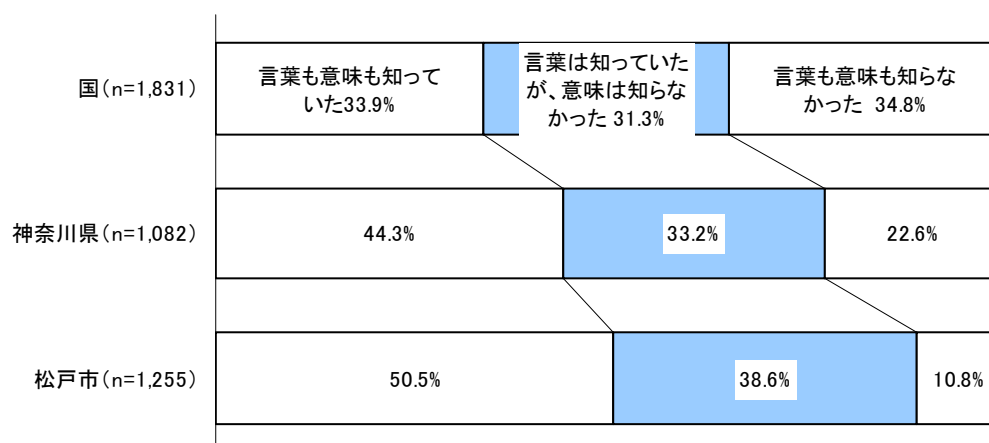
## アンケート集計結果

### 食育に関する認知度と関心

まず食育という言葉や言葉の意味についての認知度について、先行の国(内閣府)と神奈川県が実施した食育に関するアンケート調査結果と比較すると、松戸市民は総じて食育の認知度が高い。これは、国の食育キャンペーンが浸透したことの結果としても理解できる。いずれにしても、食育に関して、半数以上はその意味も含めて理解しており、言葉のみの認知を加えると、9割が認知しており、食育という言葉は市民的な常識となっているといってもよい。

クロス集計結果をみると、世代間での統計的に有意な差はみられないものの、性別で見ると、性別で統計的に有意差がみられた。言葉も意味も知らない男性が26%であるのに対して、女性では8%に過ぎないことから性別で大きな認知レベルに差があるといえる。

#### 問1 食育の認知度



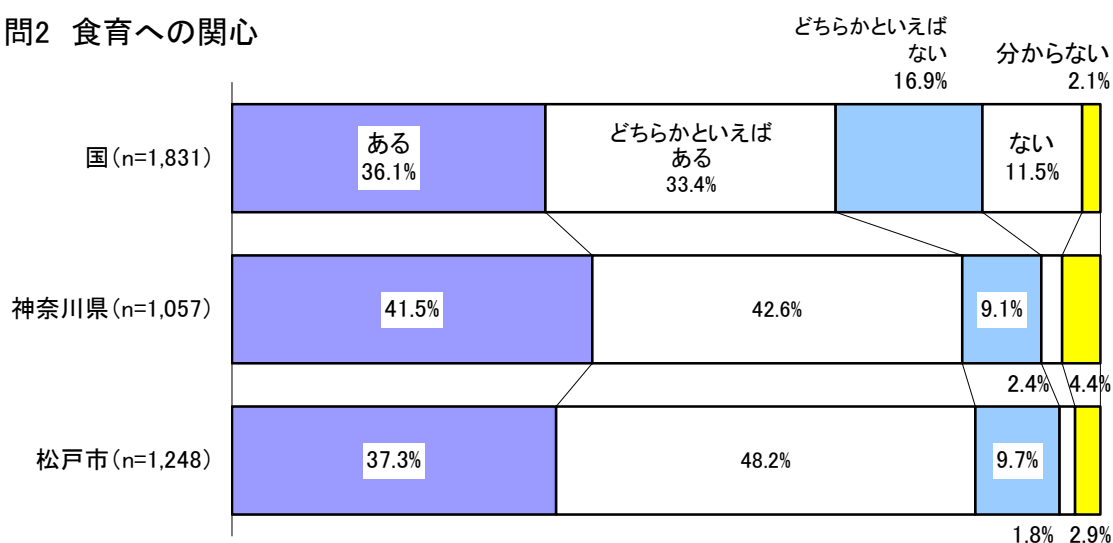
食育の認知度	性別	
	女性	男性
言葉・意味も知っていた	53.0	39.0
言葉のみ知っていた	39.5	35.1
言葉・意味も知らず	7.5	26.0
計 (%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***	

注)\*\*\*、\*\*、\*は各 1%、5%、10%の有意水準を示す。

食育への関心の有無を聞くと、国と神奈川県との調査と比べて、少し関心ありの割合が高い。関心有り・少し関心有りの両者を合わせると、85%を超えており、市民的関心は高いといえる。しかし、質問項目を統合化して関心あり（関心あり＋少し関心あり）と関心なし（あまり関心なし＋関心なし＋わからない）の2項目と世代別および性別でクロス集計を行なうと、世代別と性別で関心の程度に統計的に有意な差がみられた。つまり、世代別で40歳未満の回答者では関心が低く、性別では男性で関心が低い。

以上から、全体的には、男性の食育への認知度や関心が低いことが明らかである。

## 問2 食育への関心

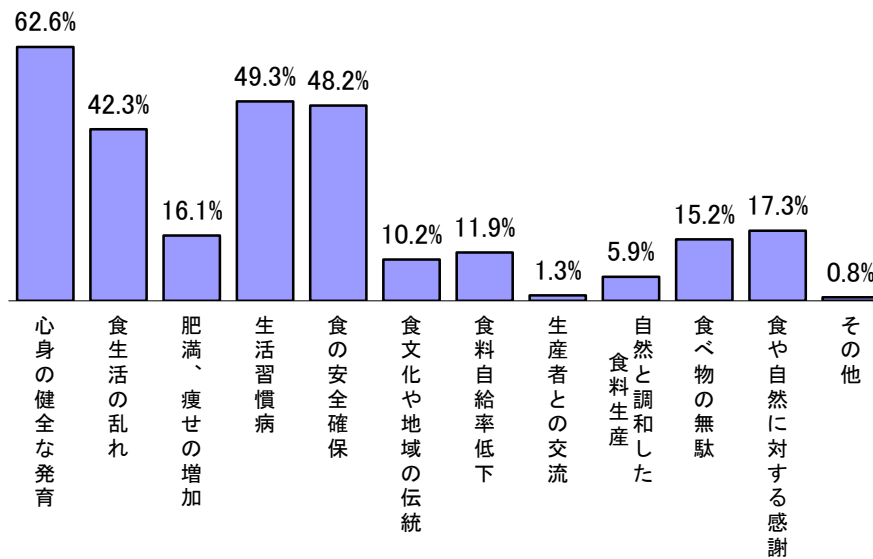


食育への関心	世代別		性別	
	40歳未満	40歳以上	女性	男性
関心ない	17.7	12.8	11.2	29.0
関心有り	82.3	87.2	88.9	71.0
計 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	**		***	

注)\*\*\*、\*\*、\*は各 1%、5%、10%の有意水準を示す。

食育に関心のある領域については、健康面に関連する事項への関心が高く、次いで食の安全や食生活に関する関心が高いのに対して、食べ物の無駄、自給率の低下や食文化や伝統などに関する関心は高いとはいえない。しかし、世代別にみると、関心事項に差がみられる。40歳以上では、生活習慣病や食の乱れなどの健康関連に関心が高いのに対して、食の安全確保への関心が高い。また性別では、心身の健全な発育に女性で関心が高いのに対して、食料自給率・食文化や地域の伝統など男性では関心が高い。

問3 食育に関心がある理由(複数回答) (n=1,068)

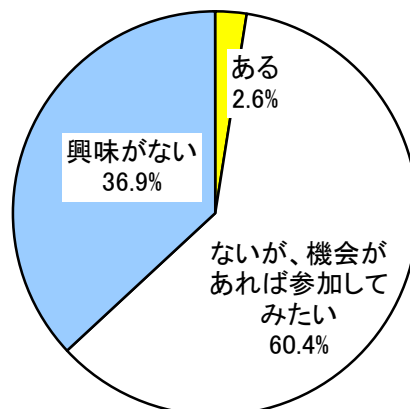


食育に関心ある理由 項目別割合 (%)	世代別		統計的検定結 果 ( $\chi^2$ 検定)	性別		統計的検定結 果 ( $\chi^2$ 検定)
	40歳未満	40歳以上		女性	男性	
心身の健全な発育	66.2	61.2	n	66.0	46.7	***
生活習慣病	45.0	52.3	**	49.6	50.3	n
食の安全確保	40.1	53.3	***	49.3	44.2	n
食生活の乱れ	48.3	39.3	***	42.4	43.0	n
食や自然に関する感謝	19.4	16.3	n	18.2	12.7	*
肥満・やせの増加	18.9	14.6	*	16.1	16.4	n
食べ物の無駄	17.1	14.6	*	15.1	17.6	n
食料自給率低下	9.0	13.6	**	10.4	20.1	***
食文化や地域の伝統	12.7	9.3	*	9.6	15.9	**
自然と調和した食料生産	3.6	7.1	**	5.0	10.4	***
生産者との交流	0.3	1.8	**	1.2	1.2	n

注)\*\*\*、\*\*、\*は各1%、5%、10%の有意水準、nは統計的に有意な差がないことを示す。

食育ボランティアに関する参加経験と参加意向については、参加経験者はわずかに2.6%であるが、機会があれば参加意向を有するものが6割に達している。世代別・性別でみると、40歳以上と女性で食育ボランティアに関して参加意向が高く、40歳未満と男性で関心が低い。とくに男性では、5割近くが興味がないと答えている。

問4 食育ボランティアへの参加経験 (n=1,216)

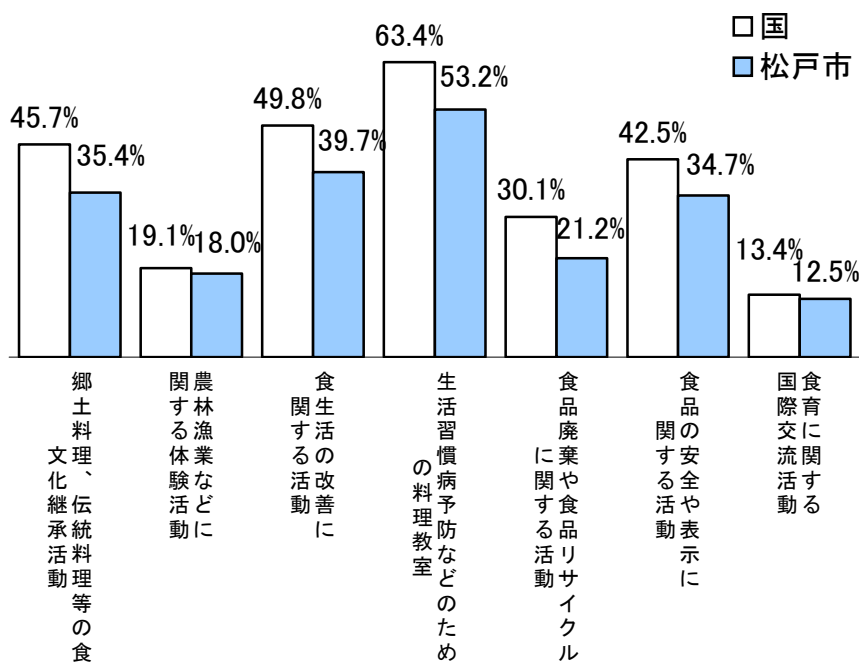


食育ボランティアへの参加	世代別		性別	
	40歳未満	40歳以上	女性	男性
ある	0.87	3.6	2.33	3.57
ないが、機会あれば参加したい	57.08	62.67	63.26	47.77
興味がない	42.05	33.73	34.41	48.66
計(%)	100.0	100.0	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***		***	

参加したい食育ボランティア活動について、国の調査と比較すると、松戸は国より、全体的にいずれの項目も参加希望割合低いが項目順はほぼ変わらない。

世代間と性別でクロス集計すると、参加したい活動に有意な差がみられた。40歳以上では健康の料理教室・安全性表示で高く、40歳未満では食文化継承、体験、国際活動で高い。また性別では、男性で食品廃棄・リサイクル活動や農業体験で参加希望割合が高く体を動かす体験的な活動に興味を示す傾向がある。

問5 参加したいボランティア活動(複数回答) (n=735)

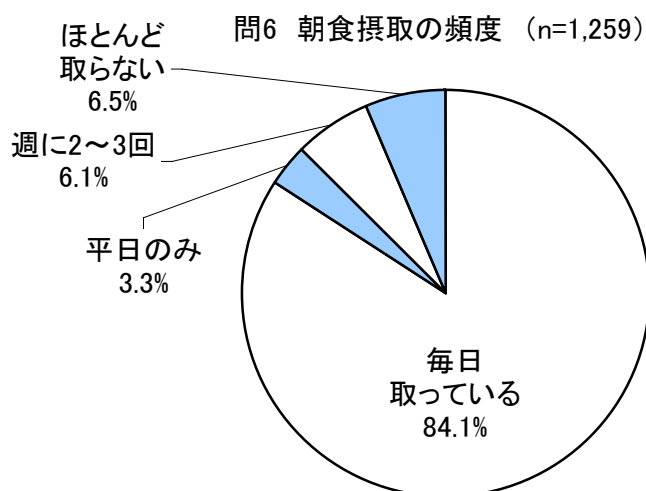


食育に関心ある理由 項目別割合(%)	世代別		統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	性別		統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	40歳未満	40歳以上		女性	男性	
健康のための料理教室	58.4	46.1	***	55.3	46.9	n
食生活改善活動	40.0	42.2	n	40.9	36.9	n
食文化継承活動	32.4	41.4	**	36.1	33.3	n
食品安全・表示活動	41.0	25.8	***	35.9	34.2	n
食品廃棄・リサイクル活動	19.8	24.6	n	20.3	27.9	*
農林漁業体験	14.3	23.8	***	16.7	23.4	*
食育の国際活動	9.9	16.9	***	12.7	10.8	n

注)\*\*\*、\*\*、\*は各1%、5%、10%の有意水準、nは統計的に有意な差がないことを示す。

## 食生活に関する意識

朝食は毎日摂取がほとんどを占めている。神奈川県調査結果とは、比較可能である毎日摂取についてみると80%であることから、松戸市の場合はやや高い。クロス集計では、世代別と性別でみると40歳以上と女性でその割合が高く有意な差がみられた。世代別では、朝食をとっている割合は、40歳以上では9割に達しているのに対して、40歳未満では75%である。また、性別では、男性で朝食をほとんどとらない人が16%いる。これらから、男性と40歳未満の世代の朝食摂取の低いことがわかる。

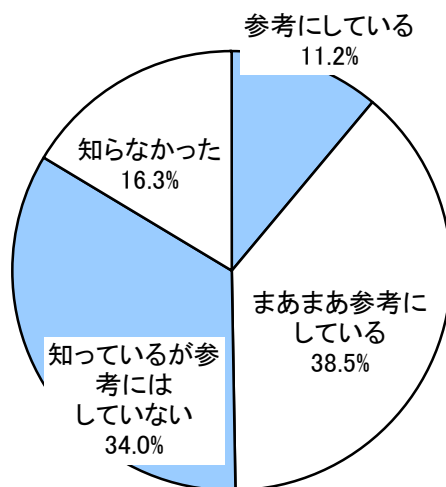


朝食の頻度	世代別		性別	
	40歳未満	40歳以上	女性	男性
毎日	74.89	89.62	86.99	72.1
平日のみ	5.84	1.77	3.13	3.86
週に2~3回	9.09	4.3	5.48	8.58
ほとんど取らない	10.17	4.3	4.4	15.45
計(%)	100.0	100.0	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***		***	

食事のバランスガイドの活用の有無については、半数が参考にしている。このバランスガイドの活用についても世代別・性別で有意な差がみられた。40歳以上と女性がいずれも活用している割合が高い。40歳以上では5割を超えているものの、40歳未満では4割程度と低い。また、男性では3分の1にとどまっている。



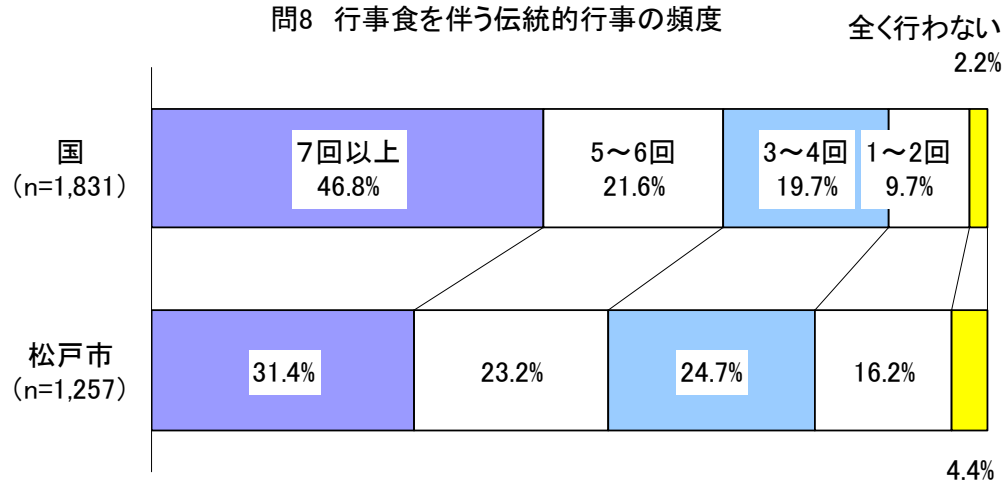
問7 食事バランスガイドを参考にした食生活 (n=1,254)



食事のバランスガイド	世代別		性別	
	40歳未満	40歳以上	女性	男性
参考になっている	5.87	14.36	12.59	5.15
時々参考になっている	33.48	41.55	40.81	28.33
知っているが参考にはしていない	43.26	28.34	35.1	29.18
知らない	17.39	15.76	11.5	37.34
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***		***	

自宅で年間行う伝統的な行事食の頻度については、国の調査結果との比較が可能である。農村部を含む国の調査結果より、総じて松戸市では行事食の頻度が低いが、これは松戸市が都市的地域であることが理由と考えられる。実施回数を5回で区分して、世代別と同居世代数別でクロス集計すると有意な差がみられた。40歳未満では5割近くであるのに対して、40歳以上では6割近くが5回以上実施している。また2世代以上の同居家族では、5回以上の実施は6割であるのに対して、一人暮らしや夫婦のみでは4割程度にとどまっている。

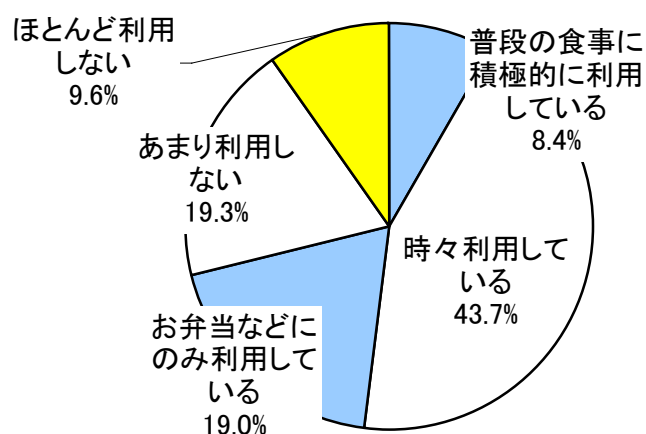
問8 行事食を伴う伝統的行事の頻度



伝統的行事食の頻度	世代別		同居世代数別	
	40歳未満	40歳以上	夫婦のみ・一人暮らし	2世代以上
5回以上実施の割合(%)	48.1	58.8	42.6	62.7
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***		***	

冷凍食品の利用については、時々利用が最も多く 4 割を超えている。次いで弁当のみに利用が 2 割程度となっており、普段から利用している回答者は 1 割に達しない。子供の有無でクロス集計すると、子供ありでは、4 割が弁当のみ利用と回答しており、簡便さから利用されていることがわかる。

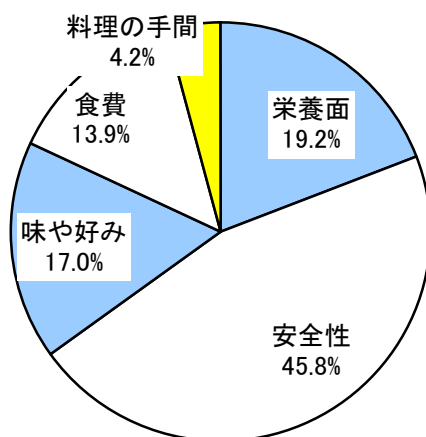
問9 冷凍食品の利用状況 (n=1,254)



冷凍食品の利用	子供なし	子供あり
普段から利用	7.4	11.1
時々利用	46.4	36.0
弁当のみ利用	12.0	39.1
あまり利用しない	22.7	9.5
ほとんど利用しない	11.5	4.3
計 (%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***	

食品購入時の注意点は、安全性を重視する者が最も多く全体の 5 割近くに達している (45.8%)。次いで栄養面、味や好み、食費の順となっている。クロス集計で有意な差があるのは、世代別でみると、40 歳以上では安全性重視、40 歳未満では食費を重視する割合が高い。

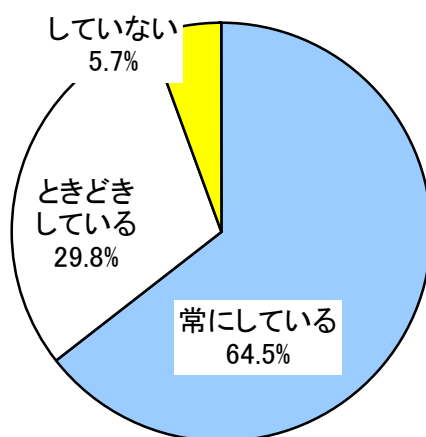
問10 食品購入時の注意点 (n=1,226)



食品購入時の注意点	世代別	
	40歳未満	40歳以上
栄養面	18.6	19.8
安全性	34.3	52.3
味や好み	19.5	15.4
食費	23.0	8.6
料理の手間	4.7	3.9
計(%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***	

食品購入時の産地チェックの有無については、常にしているが3分の2を占めている。世代別・同居世代数別のクロス集計で有意な差がみられた。40歳以上、2世代以上の同居の者では、常にしているが有意に高い。このように、40歳以上の世代では、安全性への意識が高いといえる。

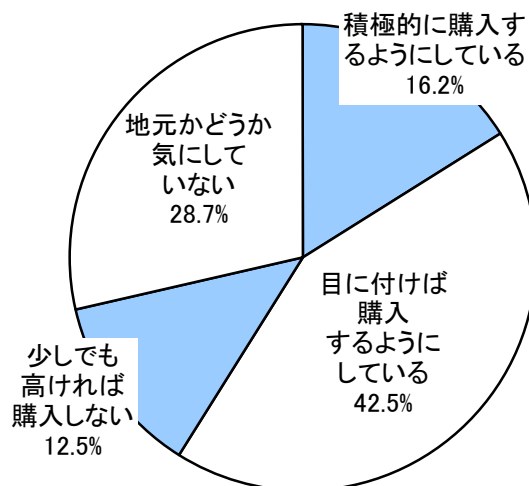
問11 生鮮食品購入時の産地チェック (n=1,255)



産地チェック	世代別		同居世代数別	
	40歳未満	40歳以上	夫婦のみ・一人暮らし	2世代以上
常にしている	60.9	66.6	62.7	65.4
ときどき	30.2	29.7	29.4	30.2
していない	8.9	3.7	7.9	4.4
計(%)	100.0	100.0	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***		**	

地元産の食材の購入は、目に付けば購入が4割で最も多いものの、次いで地元産か否か気にしない者が3割弱存在している。クロス集計では、世代別に有意な差がみられた。40歳以上では、地元産を購入する者が3分の2に達していることから、40歳以上の世代では地元産への購買意欲が高いといえる。

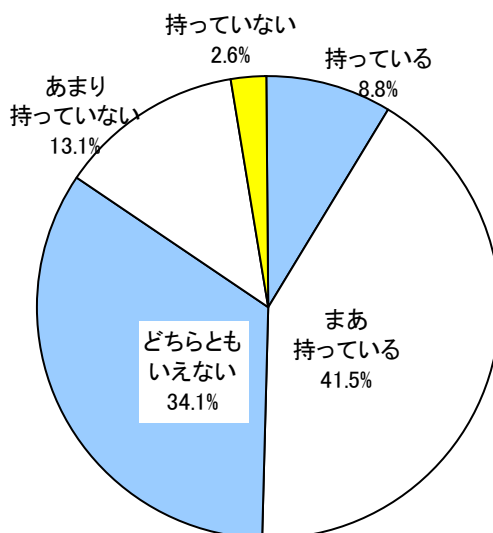
問12 地元産食材の購入 (n=1,251)



地元産食材の購入	世代別	
	40歳未満	40歳以上
積極的に購入	9.4	20.1
目に付けば購入	33.3	47.9
高ければ購入せず	19.6	8.5
地元産か否か気にせず	37.7	23.4
計(%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***	

食品安全性に関する知識については、持っている者は 1 割未満であるが、まあ持っているとする者が最も多く 4 割で合わせると半数に達し、半数は安全性への知識を一定程度は持っているといえる。しかし、世代別にみると、40 歳以上では、持っている者が 6 割近いのに対して、40 歳未満では、どちらでもないが 4 割を超えており、知識レベルに世代間で差のあることを理解できる。

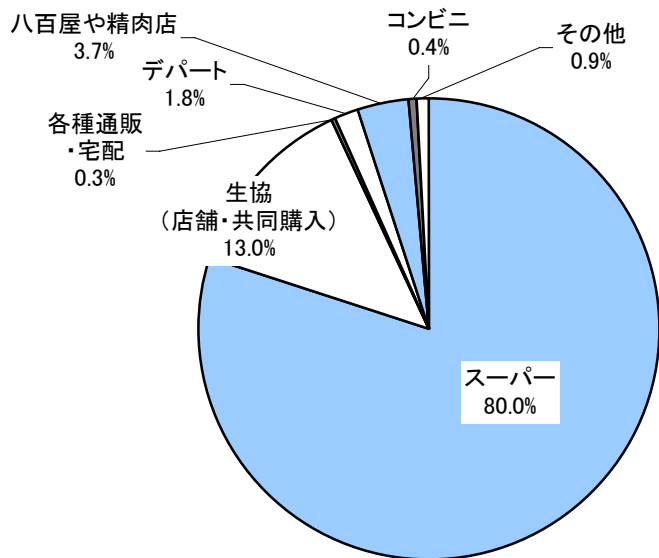
問13 食品の安全性に関する基礎知識 (n=1,256)



食品安全性に対する知識	世代別	
	40 歳未満	40 歳以上
持っている	5.7	10.7
まあ持っている	30.0	48.0
どちらでもない	42.4	29.3
あまり持っていない	18.3	10.0
持っていない	3.7	2.0
計 (%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***	

生鮮食品の購入場所は、8 割がスーパーと回答し、購入先の大半を占めている。新興住宅地が多いため、商店街などの八百屋・精肉店での購入はわずか 3.7%にすぎない。

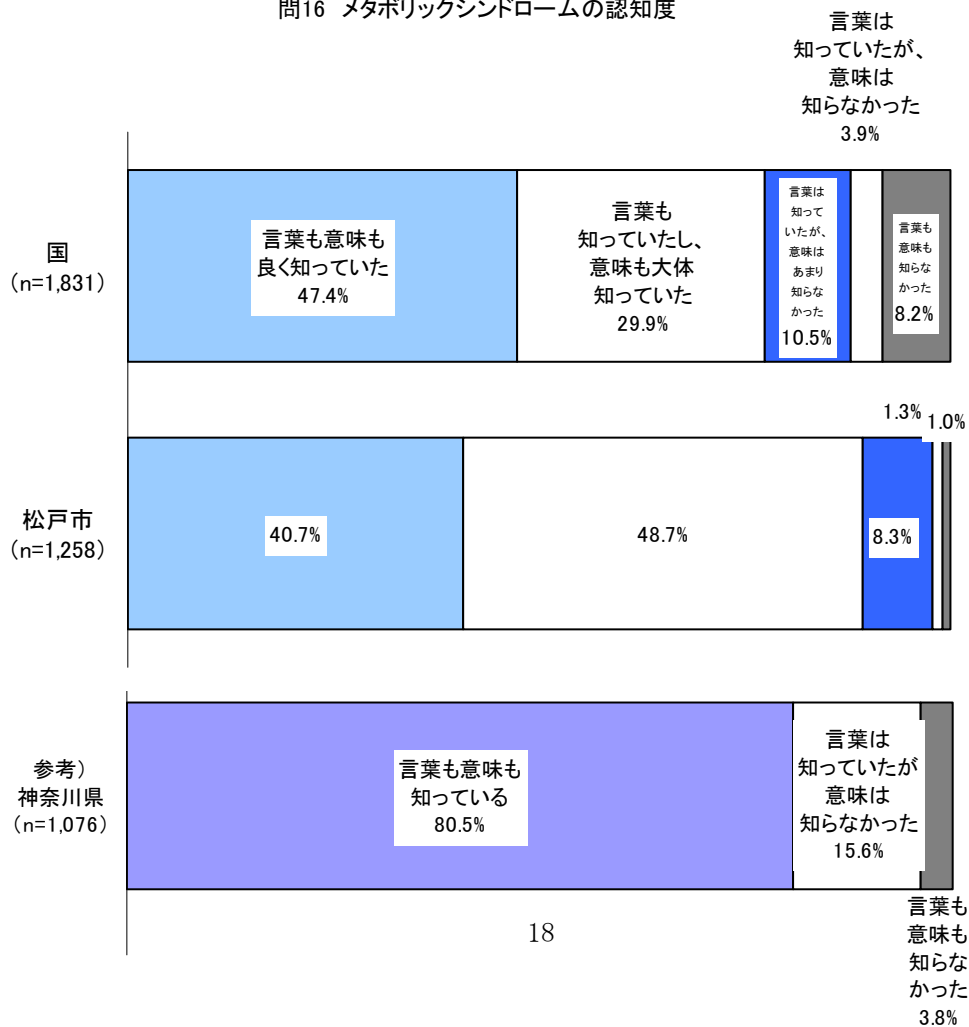
問14 生鮮食品の主な購入場所 (n=1,232)



健康に関する意識

メタボリックシンドロームの認知度については、国と神奈川県の結果と比較すると、言葉・意味をよく知っているとする回答は、4割と低いのに対して、言葉・意味を大体知っているとの回答は5割近くに達している。

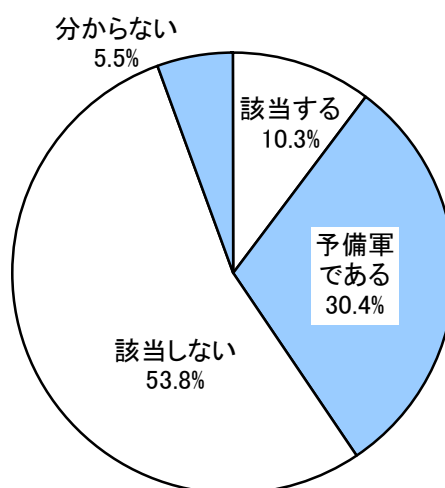
問16 メタボリックシンドロームの認知度



メタボリックシンドロームの認知	世代別	
	40歳未満	40歳以上
言葉・意味よく認知	33.0	45.4
言葉・意味大体認知	54.5	45.1
意味は余り知らず	10.6	7.0
意味は知らず	1.1	1.4
言葉・意味知らず	0.9	1.1
計(%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***	

回答者自身がメタボリックシンドロームに該当するかという質問に関しては、53.8%の回答者が該当しないと回答している。しかし、40歳以上と男性で、有意に該当割合が高くなっている。

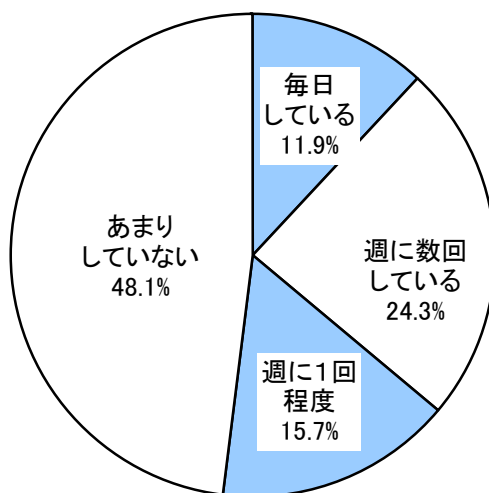
問17 自分がメタボリックシンドロームに該当すると思うか  
(n=1,256)



メタボリックシンドロームに該当	世代別		性別	
	40歳未満	40歳以上	女性	男性
該当	5.0	13.3	8.2	19.4
予備軍	24.2	34.2	29.4	35.3
該当せず	63.2	48.4	56.9	40.1
わからない	7.6	4.2	5.5	5.2
計(%)	100.0	100.0	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***		***	

定期的な運動に関しては、あまりしないが 5 割近くに達している。残りの半分は週に数回、週に 1 回、毎日という順になっており、マメに運動している人は、多数派ではない。世代別と性別で有意な差がみられ、40 歳未満ではほとんど運動しない人は 5 割を超えるが、40 歳以上では 4 割で、週に数回以上の運動は 4 割が行っている。また性別でも、有意な差がみられ、男性では毎日運動している人の割合が女性に比べて高い。

問18 定期的な運動 (n=1,254)



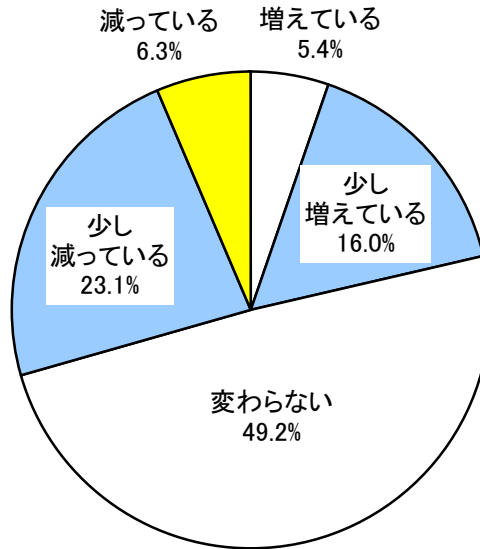
定期的な運動	世代別		性別	
	40 歳未満	40 歳以上	女性	男性
毎日	7.0	14.7	10.8	16.4
週に数回	19.8	26.9	24.8	22.4
週に1回	16.6	15.2	15.5	16.8
あまりしない	56.6	43.2	48.9	44.4
計 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***		***	

### ゴミ・資源環境問題への意識

家庭ごみの排出量の変化については、変化なしが半数で、減少 3 割、増加 2 割という回答であった。世代別でみると、統計的な有意差がみられ、40 歳以上の世代では減少が 37% あるが、40 歳未満では減少はわずか 16% にすぎず、これに対して増加は 40 歳未満で 28% (40 歳以上 17%) と対照的な傾向がみられた。これには、世代間の家族ライフサイクルの違いと環境意識の両方が作用していると考えられる。



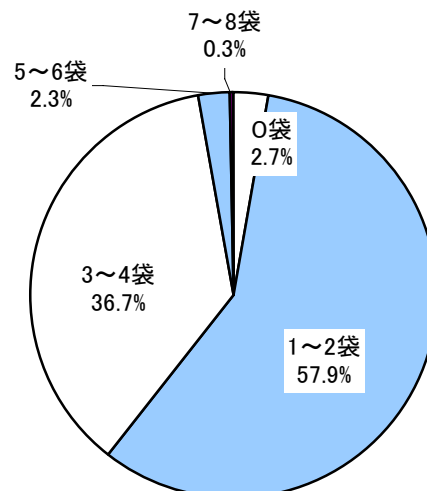
問28 1人当たりの家庭ごみ排出量変化 (n=1,251)



家庭ごみの排出量変化	世代別	
	40歳未満	40歳以上
増えている	9.6	2.9
少し増えている	18.7	14.4
変わらない	55.1	45.7
少し減っている	13.5	28.9
減っている	3.1	8.1
計 (%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***	

燃やせるごみの一週間当たりの排出量は、ごみ袋で2袋までが57.9%、次いで4袋までが36.7%となり、この2つで95%を占めている。ごみ排出量で統計的に有意な差があるのは、同居世代数別で2世代同居以上の場合は、4袋までが43%となっているのに対して、世帯員数が少ない一人暮らし・夫婦のみでは、26%と低い。

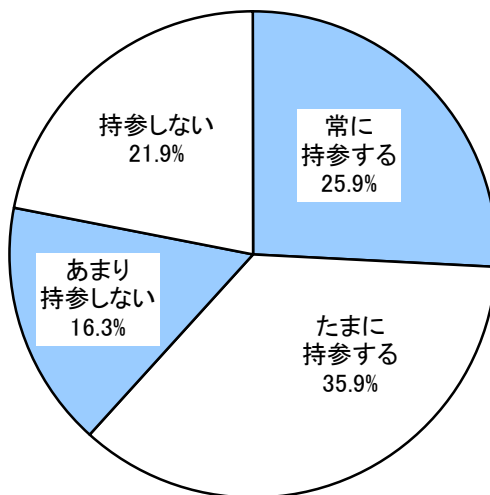
問29 燃やせるごみの排出量(1週間当たり) (n=1,249)



燃やせるごみ排出量/一週間	同居世代数別	
	夫婦のみ・ 一人暮らし	2世代以上
0袋	5.3	1.3
1～2袋	67.1	52.1
3～4袋	26.1	43.1
5～6袋	1.3	3.1
7～8袋	0.2	0.4
計(%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)		***

買い物袋の持参については、たまに持参が最も多く 35.9%、次いで常に持参が 25.9%で、持参しないは 21.9%となっている。しかし、世代別にみると 40 歳未満では持参しないが 29%と高く、性別では男性の 4 割近くが持参しないと回答している。世代間、性別での意識の差が顕著である。

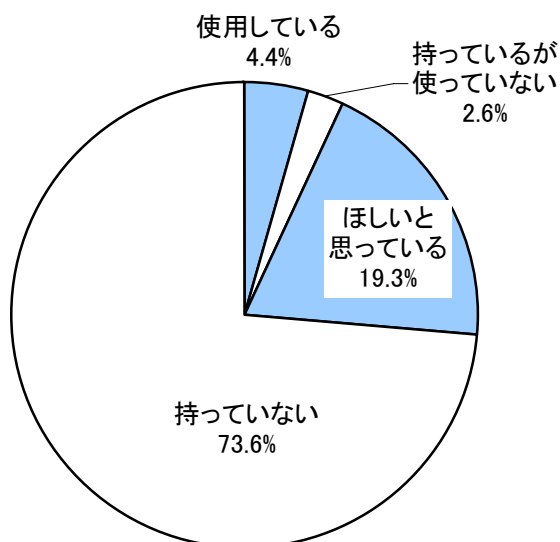
問30 買い物袋の持参 (n=1,256)



買い物袋持参	世代別		性別	
	40歳未満	40歳以上	女性	男性
常に持参	18.4	30.1	29.0	11.2
たまに持参	36.4	35.8	37.3	30.2
あまり持参しない	16.5	16.2	15.6	19.8
持参しない	28.8	17.9	18.1	38.8
計(%)	100.0	100.0	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)		***	***	

生ごみ処理容器の使用については、4分の3が持っていないが、2割近くが欲しいと思っていると回答している。世代別では、40歳未満の世代で欲しいと思っている割合が高く24%ある。

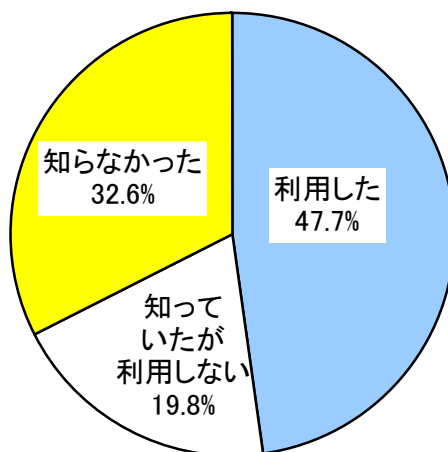
問31 生ごみ処理容器等の使用状況 (n=1,247)



生ごみ処理容器使用	世代別	
	40歳未満	40歳以上
使用している	3.0	5.1
持っているが不使用	0.4	4.0
ほしいと思っている	23.9	16.8
持っていない	72.7	74.1
計(%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***	

生ごみ処理容器購入の際に、5割近くは市の補助制度を利用していた。

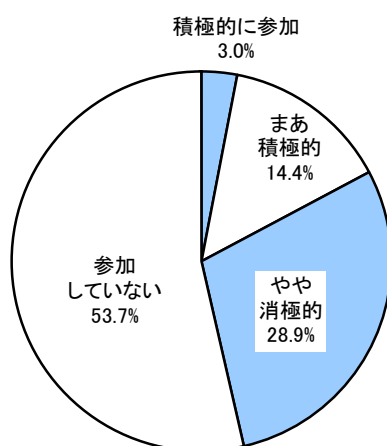
問32 補助制度の利用 (n=88)



## 生活時間・地域活動・農作業体験

地域の活動への参加状況は、半数以上が参加しておらず、積極的な参加者は2割に達しない。世代別では、40歳以上がより積極的で統計的に有意な差が現れている。

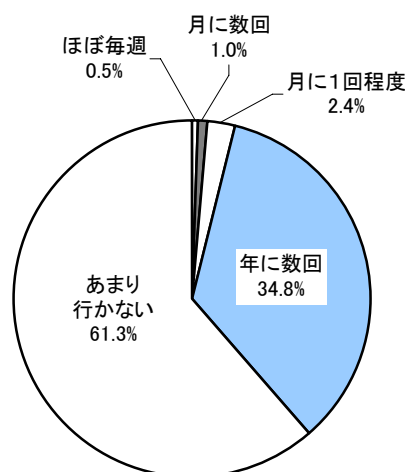
問34 地域活動への参加状況 (n=1,247)



地域の活動への参加状況	世代別	
	40歳未満	40歳以上
積極的に参加	0.9	4.2
まあ積極的	9.9	16.9
やや消極的	26.1	30.6
参加していない	63.1	48.2
計 (%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***	

農山漁村への旅行は、あまり行かないが6割以上で、次いで年に数回行くが35%を占めている。世代別では、40歳以上の世代で農山漁村旅行へより頻繁に出かけている。

問35 農山漁村への旅行 (n=1,248)

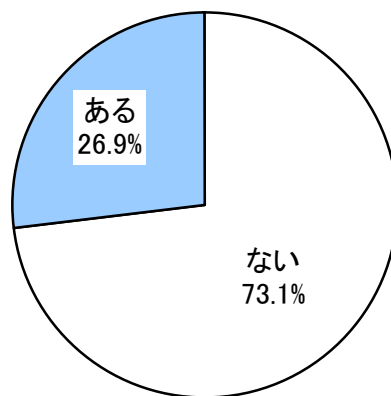


農山漁村旅行	世代別	
	40歳未満	40歳以上
ほぼ毎週	0.4	0.5
月に数回	0.4	1.4
月に1回程度	2.0	2.7
年に数回	30.7	37.0
あまり行かない	66.5	58.4
計(%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	**	

農作業体験については、7割以上がないと回答している。世代別では、40歳以上の世代で体験を有する割合が高い。

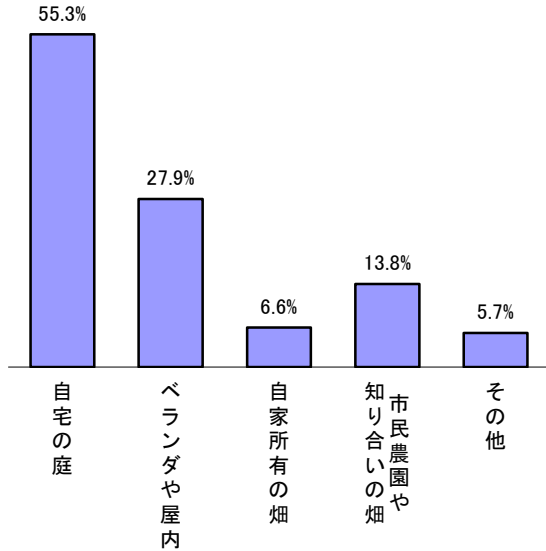
農作業の場所は、自宅の庭が約半数を占め、次いでベランダや屋内が27%となっている。市民農園や知り合いの畑は13%と少ない。誰と作業しているのかについては、配偶者33%、自分ひとりが29%、子供14%の順となっている。

### 問36 趣味としての農作業体験 (n=1,236)

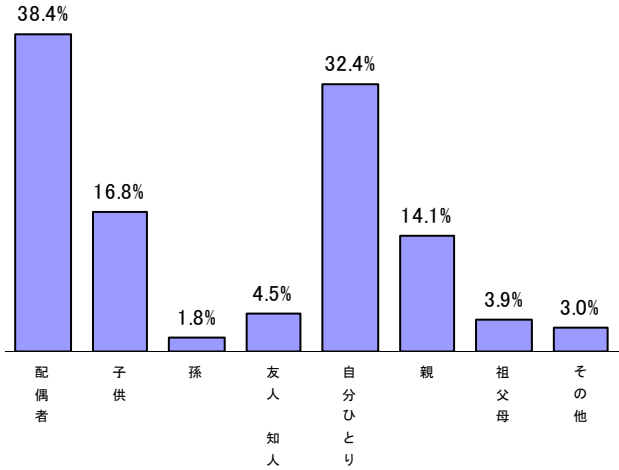


農作業体験	世代別	
	40歳未満	40歳以上
なし	76.6	70.8
あり	23.4	29.2
計(%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	**	

問37 農作業の場所(複数回答) (n=333)



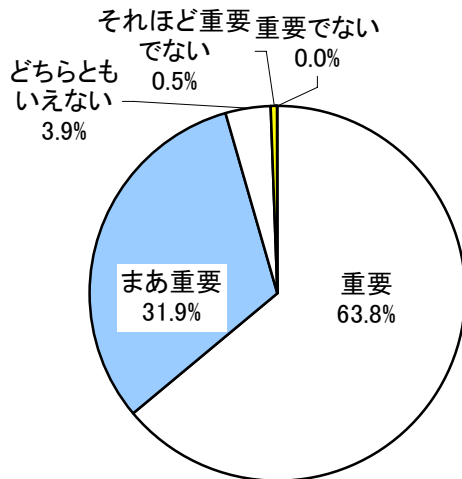
問38 一緒に農作業をする人(複数回答) (n=333)



### 子供の食育に関する意識

子供の食育の重要性については、重要、まあ重要を合わせるとほとんどが重要と答えている。

問63 子どもに対する食育の重要性 (n=207)



子供の食育に重要なものは、食べ物の無駄を減らす、自然や生産者への感謝、食事作法が重要と答える割合が半数を超えている。これらは、食に直接関わる事項といえる。また、まあ重要との回答が半数を超えているのは、食の関連項目で、食を通じたコミュニケーション、農林漁業体験、食文化・伝統の継承などである。

4つの回答を重要と重要でないに二つに統合して、子供の年齢別でみると、13歳未満の子供を有する回答者で農林漁業体験が重要と回答する割合が高い。つまり、回答者は、農林漁業体験は、小学生段階程度での実施が有効と考えている。

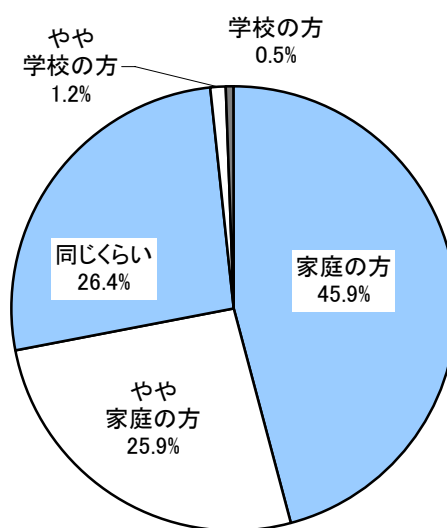
子どもの食育に重要な項目	食べ物の無駄を減らす	自然や生産者への感謝	食事の作法	食生活の改善	食を通じたコミュニケーション	農林漁業体験	食文化や伝統の継承
重要	76.5%	74.9%	67.5%	59.4%	44.8%	23.5%	22.2%
まあ重要	22.1%	24.1%	29.6%	38.1%	49.3%	62.3%	64.5%
それほど重要でない	1.5%	1.0%	3.0%	2.5%	6.0%	13.7%	12.3%
重要でない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	1.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

注：各項目ごとに四捨五入しているので合計が100%とならない場合もある。

農林漁業体験	子供の年齢	
	13歳未満	13歳以上
重要でない	12.0	25.5
重要である	88.0	74.5
計 (%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)		***

食育の場としては、家庭と回答したものが、4分の3近くに達している。しかし、回答者の世代別、性別でみると、統計的に有意な差が認められた。40歳以上、女性では、家庭と回答する割合が高く、逆に40歳未満、男性ではその割合が低い。

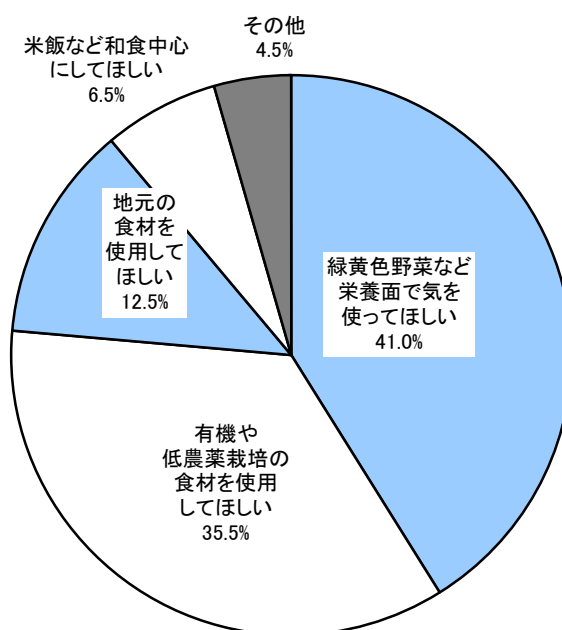
問15 子供達への食育の場 (n=1,237)



食育の場	世代別		性別	
	40歳未満	40歳以上	女性	男性
家庭	33.0	53.6	46.2	44.4
やや家庭	30.7	23.0	27.1	20.2
同程度	34.4	21.9	25.5	30.9
やや学校	1.5	1.0	1.1	1.8
学校	0.4	0.5	0.0	2.7
計 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***		***	

学校給食で希望する食材については、栄養面と安全性に関する希望が多い。また地元食材の使用に対する要望も1割程度であるが、みられることは無視しえない。

#### 問62 学校給食へ希望する食材 (n=200)



#### 市に期待する食育施策

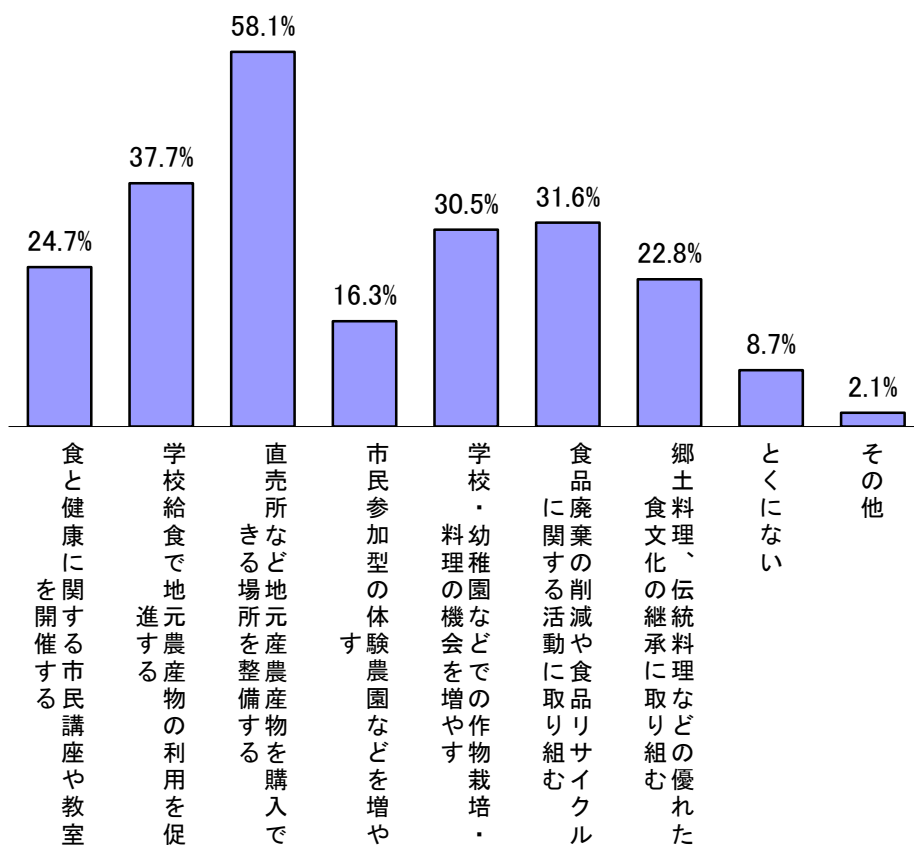
市に期待する食育施策について、最も多いのは直売所整備で、次いで学校給食で地元農産物利用、食品廃棄やリサイクル、学校での栽培・料理の機会への要望がみられる。

項目別に選択者の割合を世代別にみると、世代間で異なる施策要望と世代間で共通する施策があることが明らかとなった。直売所整備と食と健康に関する市民講座で40歳以上で要望が高い。これに対して、地元農産物の学校給食での利用や、学校での栽培・料理の機



会の増加など学校での取り組みに関する要望では40歳未満で高い。さらに、食品廃棄やリサイクル、体験農園整備に関しては世代間の差はみられず、共通の関心事項といえる。

問39 食育に関して市に期待する施策(複数回答)  
(n=1,262)

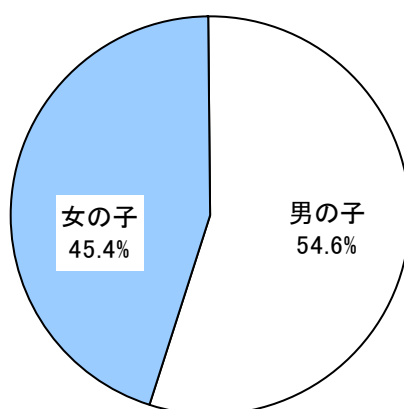


期待する市の食育施策 (複数回答) 選択者割合%	世代別		統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	40歳未満	40歳以上	
直売所整備	51.0	64.6	***
食と健康の市民講座	20.4	28.2	***
地元産農産物の学校給食利用	45.3	34.8	***
学校で栽培・料理機会の増加	46.4	22.6	***
食品廃棄やリサイクルの取組	31.5	32.7	ns
郷土・伝統食文化の継承	25.5	22.3	ns
体験農園整備	17.1	16.8	ns

## 子供の食生活と子供の食育への回答者意識

子供のいると回答した 208 件についての回答結果を検討する。子供の性別は、男 54.6% で女 45.4% の構成となっている。平均値でそのプロフィールをみると、年齢は 9 歳、身長 135cm、体重 32kg であった。平均の就寝時間は、午後 9 時 25 分、起床時間は午前 6 時 45 分であった。

問55のうち 子供の性別 (n=205)



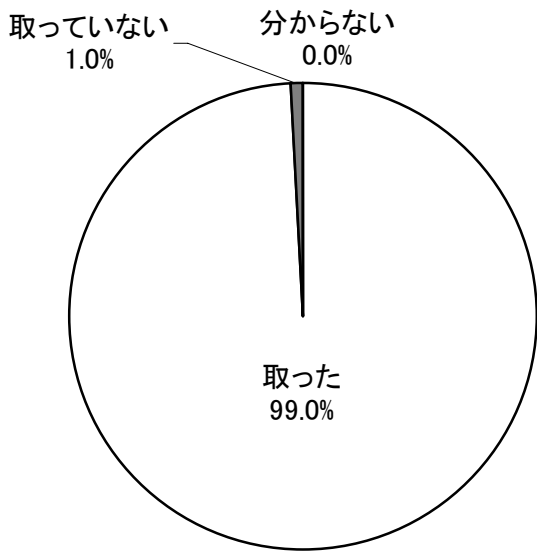
子供のプロフィール		
年齢(歳)	身長(cm)	体重(kg)
9.4	134.9	31.7

子供の平均就寝時刻	午後 9 時 25 分
子供の平均起床時刻	午前 6 時 45 分

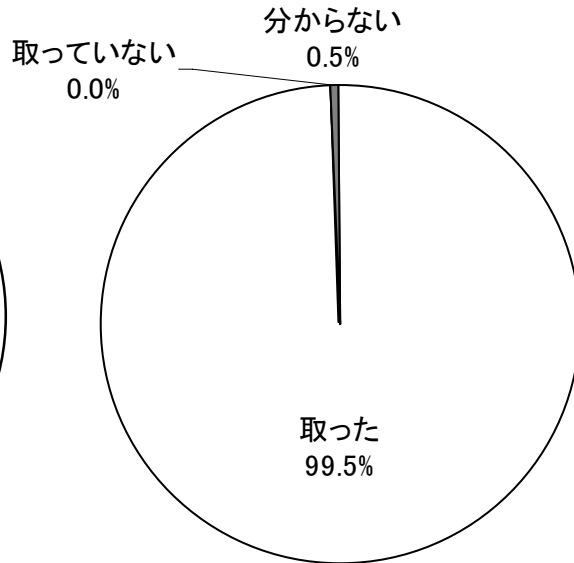
子供の食生活に関しては、朝食と夕食ともにほとんどがとっていると回答している。次に誰と食べたかについてみると、朝食・夕食ともに母、兄妹、父の順となっているが、夕では母や兄妹と食べる割合が高い。ひとりで食べた子供は朝食では 1 割程度あるが、夕食では 1%であった。食事の場所は、朝食・夕食共に居間・ダイニングがほとんどを占めている。食事に掛けた時間は、朝食は 10 分程度と 20 分程度が各 43.9%で、9 割近くを占めている。これに対して、夕食では、30 分程度が最も多く、3 分の 2 近くを占めている。

子供の年齢で 13 歳未満と 13 歳以上で区分し、クロス集計すると、13 歳以上では朝食・夕食共に統計的に有意に食事にかけた時間が短い。

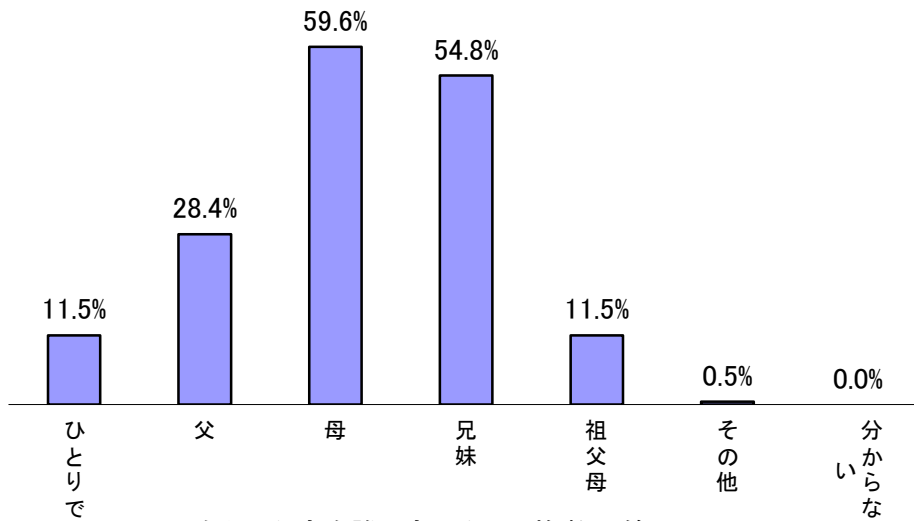
問48のうち 子供の朝食摂取 (n=208)



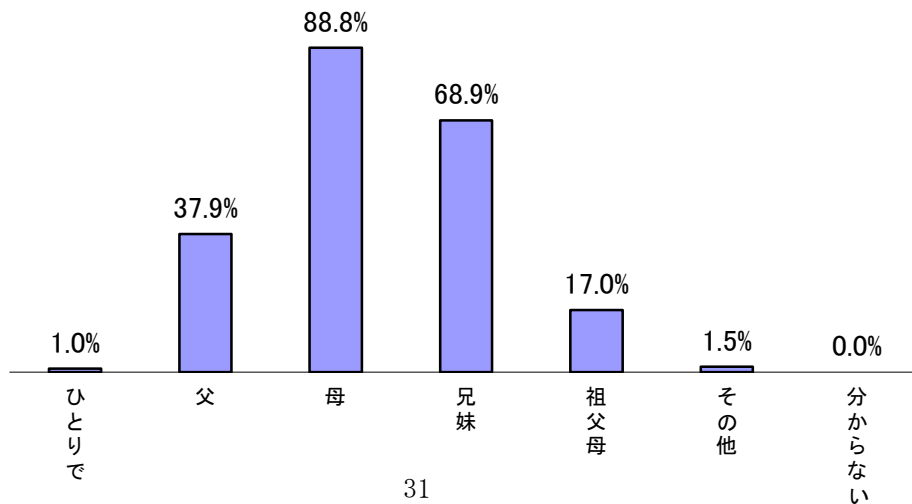
問48のうち 子供の夕食摂取 (n=206)



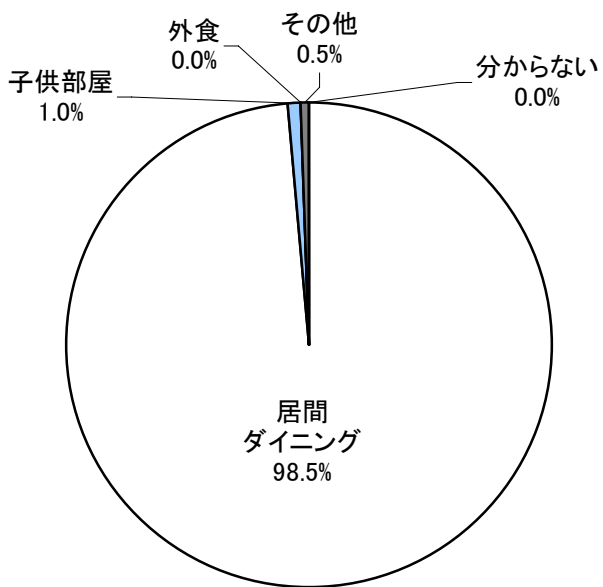
問49のうち 朝食を誰と食べたか(複数回答) (n=208)



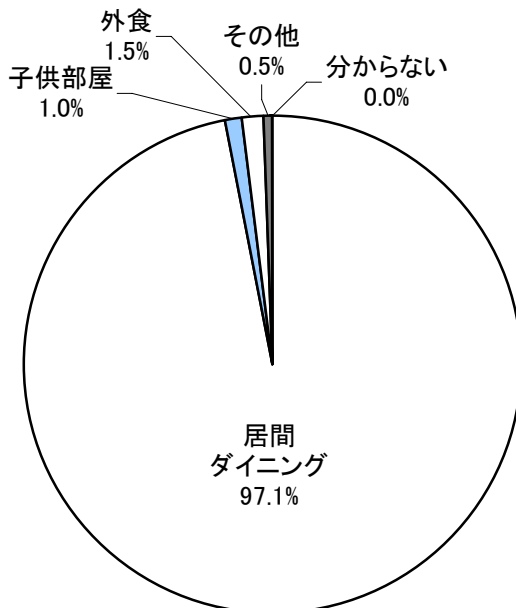
問49のうち 夕食を誰と食べたか(複数回答) (n=206)



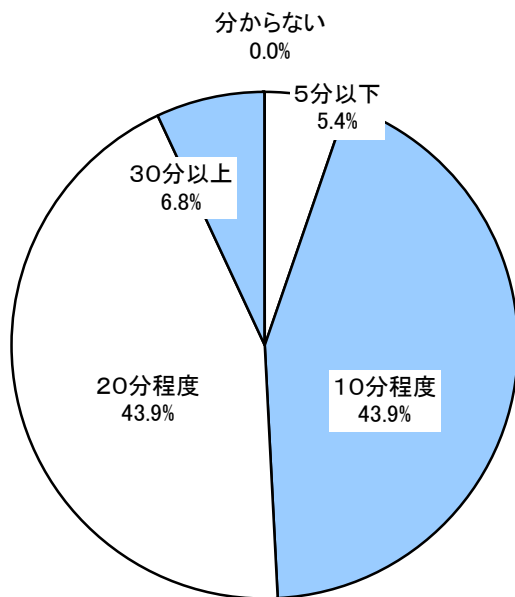
問50のうち 朝食をどこで食べたか (n=206)



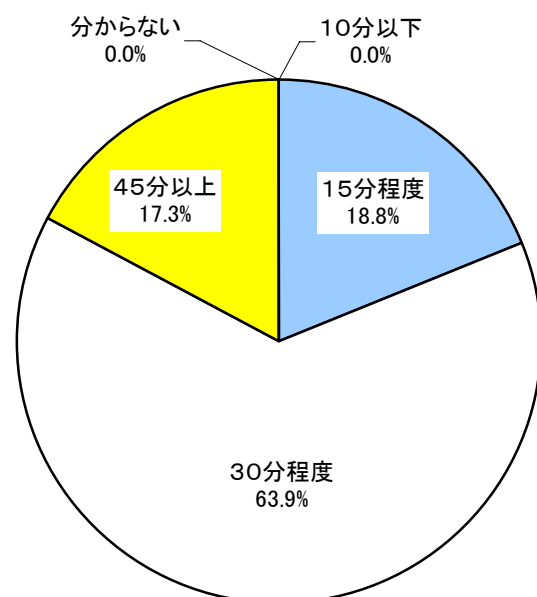
問50のうち 夕食をどこで食べたか (n=205)



問51のうち 朝食にかけた時間 (n=205)



問51のうち 夕食にかけた時間 (n=202)

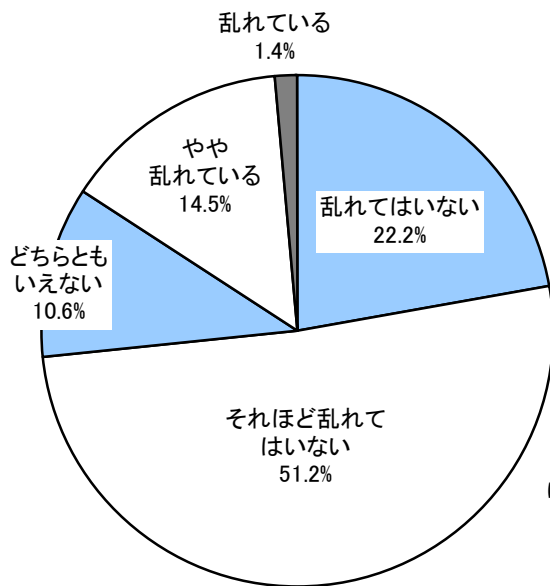


朝食にかけた時間	子供の年齢	
	13歳未満	13歳以上
5分以下	3.0	15.0
10分程度	41.7	55.0
20分程度	47.6	27.5
30分以上	7.7	2.5
計(%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***	

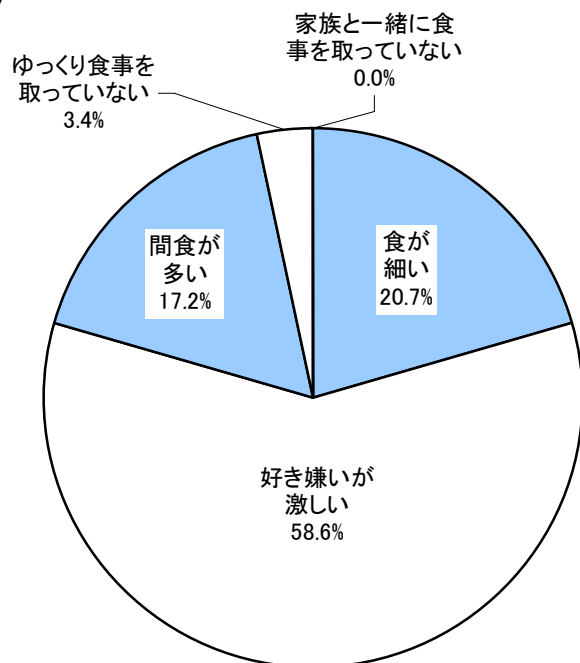
夕食にかけた時間	子供の年齢	
	13歳未満	13歳以上
10分以下	0.0	0.0
15分程度	14.6	37.5
30分程度	65.2	57.5
45分以上	20.1	5.0
計(%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***	

子供の食生活の乱れに関しては、乱れていない。それほど乱れていないを合わせると、4分の3に達している。これに対して、乱れている・やや乱れているはわずか15.9%であった。このうち、食の乱れを感じる具体的な点としては、好き嫌いが激しいが6割近い、次いで食が細い、間食多いという順であった。子供の年齢による差はみられない。

#### 問52 子供の食の乱れ (n=207)

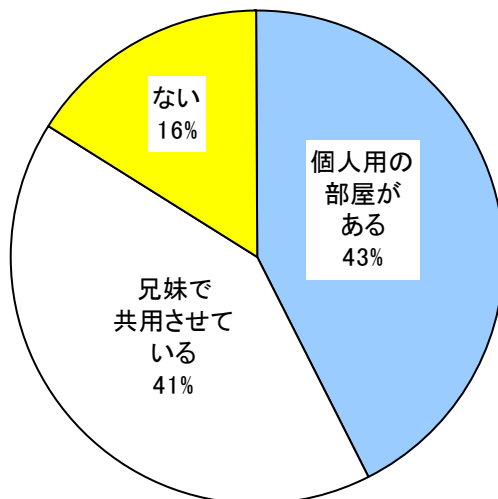


#### 問53 食の乱れを感じる点 (n=29)



子供部屋については、兄妹を含めると8割以上が有している。

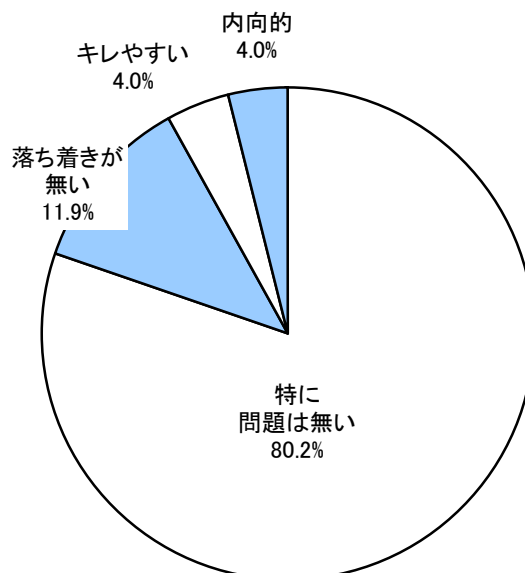
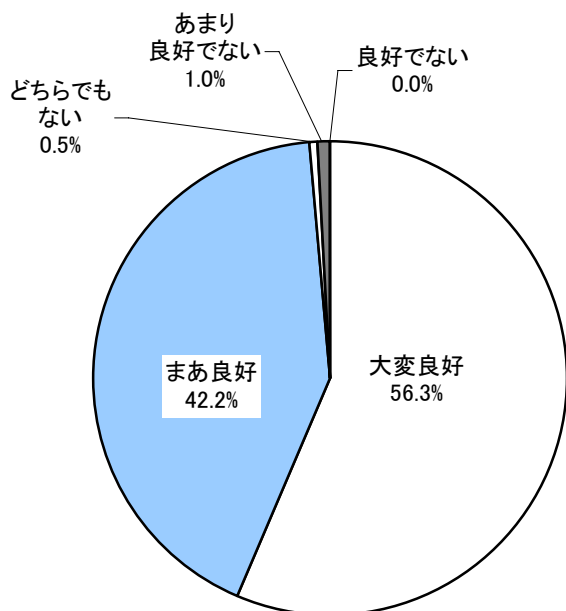
問54 子供部屋の有無 (n=205)



子供の健康状態について、身体の状態は、ほとんどが良好と回答し、心の状態についても8割が問題ないとしている。心の状態では、落ち着きない、キレやすい、内向的が続くが、その割合は低い。

問55のうち 子供の体の状態 (n=206)

問55のうち 子供の心の状態 (n=202)

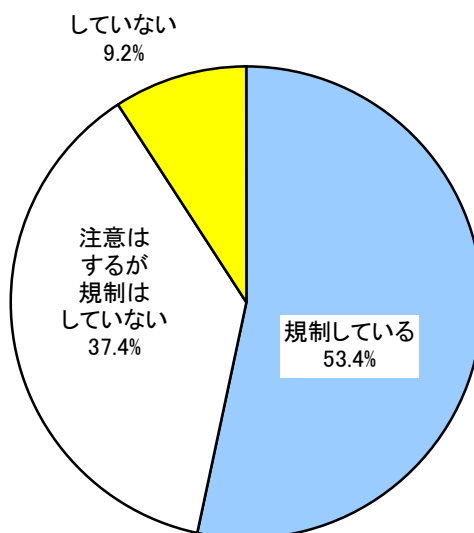


即席めん、炭酸飲料、菓子について規制しているかという問に関しては、規制しているとする回答が半数以上、注意のみがほぼ4割となった。

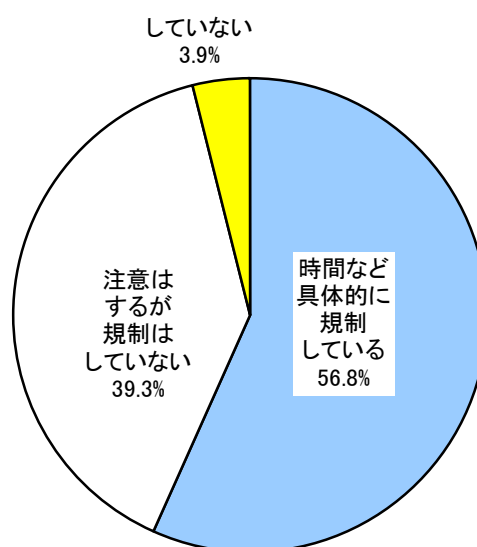
テレビゲーム・漫画・TVゲームの規制についても、同様の結果となっている。ただし、子供の年齢で区分してみると、統計的に有意な差がみられた。13歳未満では規制を行って

いるが、13 歳以上では注意のみが多くなっており、子供の年齢による対応の違いがみられる。

問56 インスタントラーメン、炭酸飲料、菓子類の食べ過ぎ規制 (n=206)



問57 テレビ、漫画、ゲームの規制 (n=206)



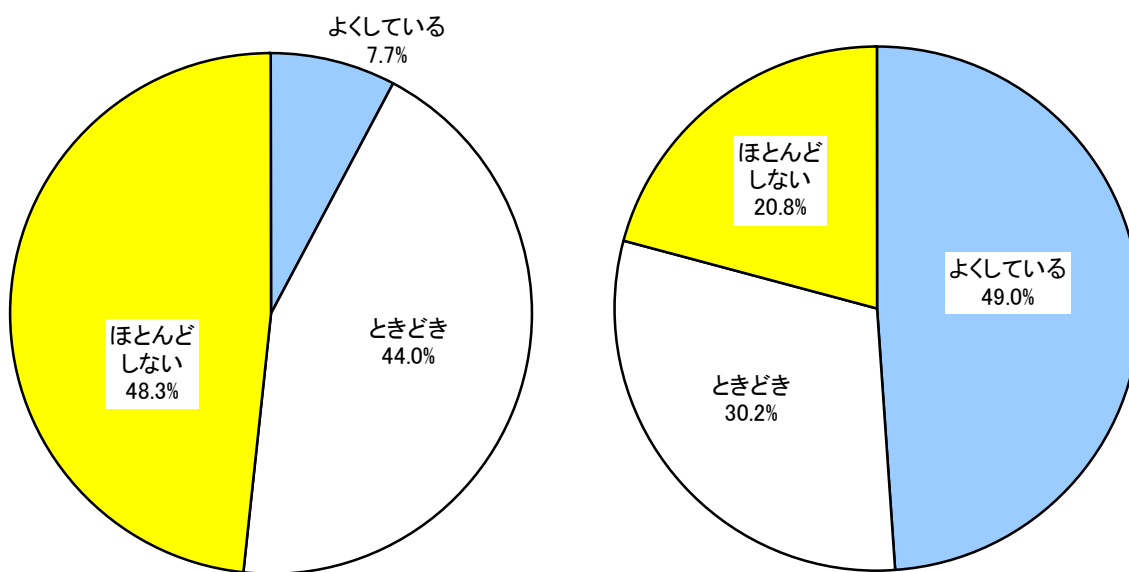
テレビ・漫画・ゲームの規制	子供の年齢	
	13歳未満	13歳以上
規制している	62.1	32.5
注意のみ	34.3	60.0
していない	3.6	7.5
計 (%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***	

子供による家事の手伝いについては、食事の準備や片付けには、半数がよくすると回答しており、比較的良好に参加している。子供の年齢・性別で区分すると、顕著な差がみられる。調理では、13歳以上では4分の3がほとんどしていないが、13歳未満では半数以上が手伝いを行っている。性別では、男性では5割以上がしていないが、女性では3分の2近くが手伝いをしている。

食事の準備・後片付けについても、13歳未満の子供がより積極的に手伝いを行っている。しかし、男女別では、有意差はなかった。

問59 家事への参加状況(料理) (n=207)

問59 家事への参加状況(食事の準備・後片付け) (n=202)



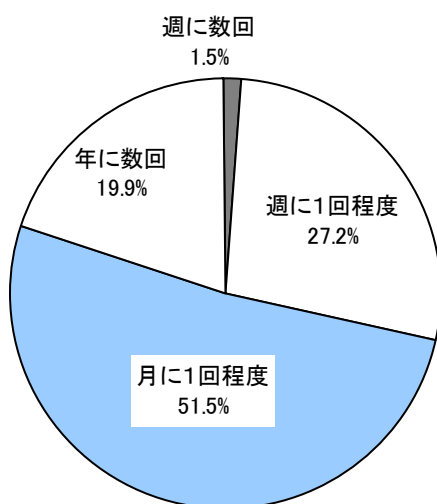
家事への参加状況 (調理)	子供の年齢		性別	
	13歳未満	13歳以上	男性	女性
よくしている	9.5	0.0	1.8	14.9
ときどき	48.5	25.0	41.6	47.9
ほとんどしない	42.0	75.0	56.6	37.2
計 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***		***	

家事への参加状況 (食事準備・後片付け)	子供の年齢	
	13歳未満	13歳以上
よくしている	54.6	25.6
ときどき	28.8	35.9
ほとんどしない	16.6	38.5
計 (%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***	



外食の頻度は、月に1回が半数を占めている。子供の年齢別でみると、13歳未満では有意に外食頻度が多く、小学校児童のいる家庭では家庭の団欒の延長として外食が機能していることが示唆される。

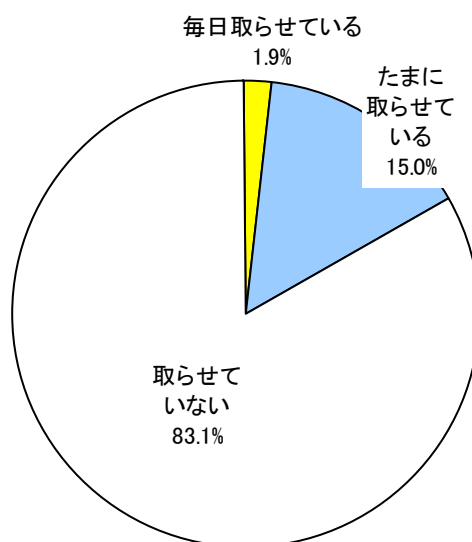
問60 子供との外食頻度 (n=206)



外食頻度	子供の年齢	
	13歳未満	13歳以上
月に1回	1.8	0.0
週に1回	31.4	12.5
年に数回	52.1	45.0
週に数回	14.8	42.5
計 (%)	100.0	100.0
統計的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)	***	

サプリメントの摂取は、8割以上がなしと回答している。

問61 子供のサプリメント摂取 (n=207)



## 子供の朝食メニュー

今回、アンケートに回答いただいた 1,262 名の松戸市民のうち、小学生から高校生までの子供がいる方を対象に、子供の朝食の内容について自由記入方式で聞いた。ただし、複数の子供を有する家庭においては、一番年下の子供の朝食内容に限定した。ここでは、その結果を主に回答者（≒保護者）の世代別（40 歳未満と 40 歳以上）に検討する。

まず、第 1 表が回答当日の朝食の品目数を世代別に整理したものである。これを見ると、保護者が 40 歳未満で 1 つ以上の品目（飲み物を含む）を出している家庭は 86 件、40 歳以上の家庭では 157 件であった。別の設問で子供が朝食を取ったと回答した家庭は 211 件であったことから自由記入への回答率は 74.4%ということになる。

さて、品目数を見てみると、40 歳未満では平均 3.9（標準偏差=1.2）、40 歳以上では 4.0（標準偏差=1.3）となっており、世代間での差はほとんど見られなかった（ $p=0.4$ ）。なお、最も多い品目数（最頻値）は 40 歳未満では 4 種類、40 歳以上では 5 種類となっており、なかには 6~8 種類ものメニューを出している家庭もあったことが分かる。

朝食の品目数（飲み物含む）

	40 歳未満 (回答件数) (86)	40 歳以上 (157)	差の検定
平均品目数	3.9	4.0	$t = 0.84$
標準偏差	1.2	1.3	( $p=0.40$ )
最頻値	4	5	
最大値	6	8	

## 子供の朝食内容（個別品目）

次に、どのような朝食を子供に出しているのかを見てみることにする。第 2 表は、複数（2 件以上）の家庭において出された朝食の品目を、頻出順に整理したものである。これを見ると、どちらの世代の家庭においても、ご飯（「おにぎり」や「おかゆ」を含む）やパン（菓子パンを含む）を主食に、牛乳（コーヒーストックを含む）が出されていることが分かった。また、世代間で異なるメニューとしては、回答者が 40 歳未満の家庭ではプリンやゼリー、「かまぼこ」や「ちくわ」などの練り物が出されており、40 歳以上の家庭では、うどん、ハンバーグ、小魚、野菜ジュースや乳酸飲料が出されているのが特徴的であった。なお、両世代間の相関係数（ケンドールの順位相関係数）を算出したところ、 $R=0.65$ （1%水準で有意）となり、40 歳未満の家庭と 40 歳以上の家庭では、おおむね似たような品目が朝食で出されていることが統計的にも確認された。

食の個別品目 (2件以上のみ)

40歳未満				40歳以上			
順位	内容	件数	比率(%)	順位	内容	件数	比率(%)
1	ご飯	42	48.8	1	ご飯	82	52.2
2	パン	37	43.0	2	牛乳	61	38.9
3	牛乳	30	34.9	3	パン	53	33.8
4	ヨーグルト	25	29.1	4	味噌汁	50	31.8
5	お茶・麦茶	21	24.4	5	フルーツ	42	26.8
6	玉子焼き	19	22.1	6	お茶・麦茶	40	25.5
7	フルーツ	18	20.9	7	サラダ	33	21.0
8	ウィンナー	17	19.8	8	玉子焼き	26	16.6
9	味噌汁	15	17.4	8	ウィンナー	26	16.6
10	サラダ	14	16.3	9	ヨーグルト	25	15.9
11	生卵・ゆで卵	9	10.5	10	生卵・ゆで卵	20	12.7
12	ジュース	7	8.1	11	ハム・ベーコン	14	8.9
12	ハム・ベーコン	7	8.1	12	漬物	11	7.0
12	スープ	7	8.1	13	海苔・海草	10	6.4
13	肉料理	6	7.0	13	納豆	10	6.4
14	焼き魚	5	5.8	14	肉料理	9	5.7
14	漬物	5	5.8	14	焼き魚	9	5.7
15	ふりかけ	4	4.7	15	コーンフレーク	8	5.1
15	海苔・海草	4	4.7	15	オムレツ・スクランブルエッグ	8	5.1
16	コーンフレーク	3	3.5	15	スープ	8	5.1
16	ココア	3	3.5	15	コーヒー・紅茶	8	5.1
17	オムレツ・スクランブルエッグ	2	2.3	16	野菜ジュース	7	4.5
17	プリン・ゼリー	2	2.3	17	チーズ	6	3.8
17	チーズ	2	2.3	17	ココア	6	3.8
17	コーヒー・紅茶	2	2.3	17	乳酸飲料	6	3.8
17	納豆	2	2.3	18	ジュース	5	3.2
17	練り物	2	2.3	18	ふりかけ	5	3.2
				19	野菜	4	2.5
				19	小魚	4	2.5
				20	ハンバーグ	3	1.9
				21	うどん	2	1.3

※ケンタールの順位相関係数=0.65 (1%有意)

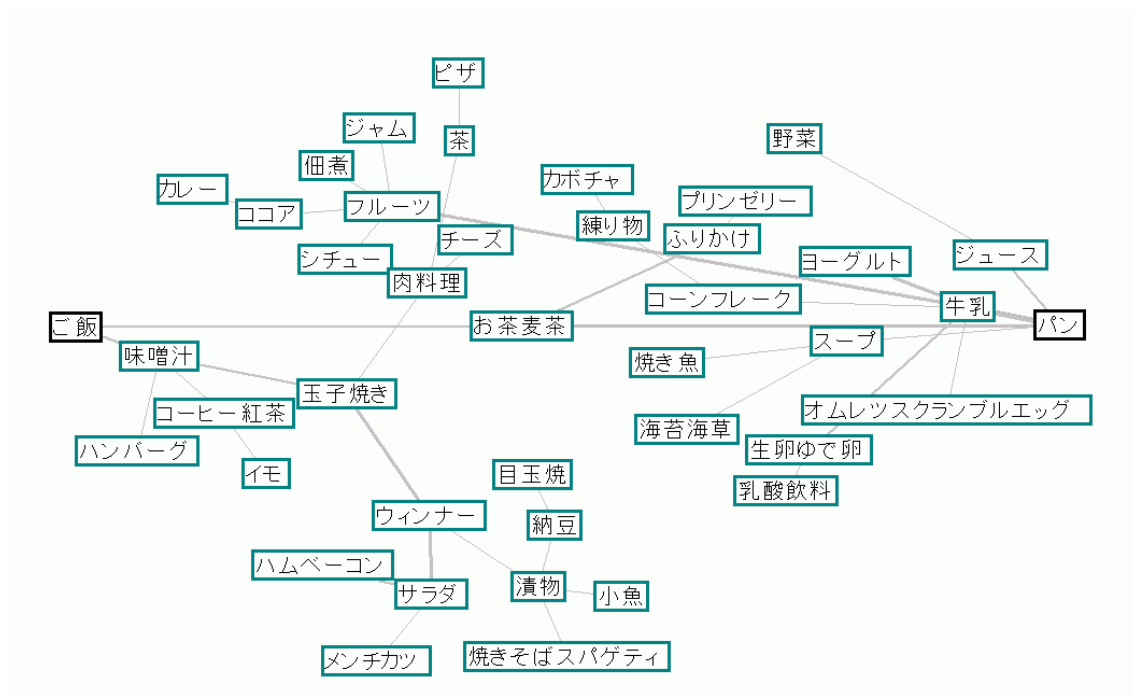
朝食メニュー (組み合わせ) のポジショニングマップ

ここでは、朝食として、先に見てきたような品目がどのように組み合わせられて子供達に与えられているかを見て行く。第1図は、保護者が40歳未満の家庭において出されている朝食メニュー (組み合わせ) を、「ご飯」と「パン」をキーワードとして、関連性の強いもの同士を近くにマッピング1)したものである (同様に第2図は40歳以上)。これを見てみると、どちらの世代においても、ご飯と味噌汁、もしくはパンと牛乳という組み合わせが確立されていることが確認できる。しかし、40歳以上の家庭において、よりご飯側に近いところに、焼き魚や納豆、練り物などが来ていることから、ご飯が和食の象徴となることが分かる。一方、40歳未満では、ご飯に近いところに、ハンバーグやウィンナー、

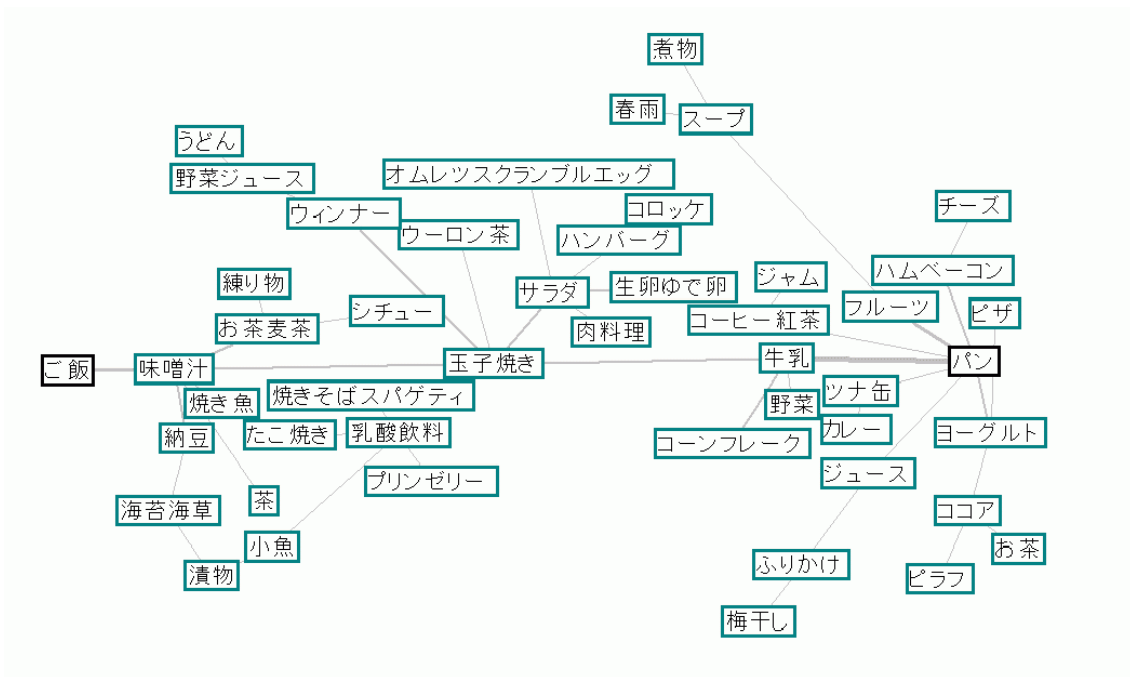
コーヒー・紅茶が来ていることから、ご飯と和食は必ずしも直結していないことが分かる（例えば焼き魚はスープを介してパンと結びついている）。また、40歳未満では、フルーツやウィンナーが、40歳以上では玉子焼きが、サイドメニューの中核、つまりそれをヒントに他のおかずの組み合わせが決定されていることが推測される。つまり、有職率の高い若い世代（40歳未満）の家庭では、和食や洋食などといった形式にこだわらず、臨機応変に品目を組み合わせているのだろう。

次に、栄養のバランス面をこれらの図から見てみる。関連度の強さを示す品目間の線の距離や太さから、両世代とも「ウィンナー」と「玉子焼き」と「サラダ」が定番の組み合わせとなっていることが分かる。他には40歳未満でパン+牛乳+フルーツが、40歳以上でパン+ヨーグルト or 牛乳や、味噌汁+納豆の組み合わせが多くなっており、両世代とも、比較的栄養バランスは考慮しているといえるだろう。

1) 「スプリングモデル・シミュレーション」という手法で作成される。従来のテキストマイニング同様、自由記入方式のテキストデータから形態素解析を実施し、単語の出現頻度や、単語間や特定のキーワードとの関連度（同じテキスト内の同時出現頻度）を算出した後、その関連性をバネに見立てた物理モデルをシミュレーションすることによって、全てのバネの引力を釣り合う位置に配置する手法である。よって、このポジショニングマップでは、朝食として組み合わせられる（ある家庭で同時に出来る）品目同士が近い場所に配置され、その度数が多い（同時に出来る家庭が多い）ほど線が太くなる。



子供の朝食メニューマップ（40歳未満の保護者の家庭）



子供の朝食メニューマップ (40 歳以上の保護者の家庭)

### 子供の朝食考察まとめ

本章では、子供の朝食についての自由記入欄の解析から、親の世代別による特徴を明らかにした。その結果、朝、子供の食卓に上る品目数については、何れの世代においても飲み物を含めて 4 品程度で、その内容についても「ご飯」「パン」「牛乳」が中心となっており、目立った差は見られなかった。一方、品目の組み合わせについては、40 歳以上の家庭において和食と洋食の区別がはっきりとした朝食が出されているのに対して、有職率の高い若い世代では、朝の忙しい時間の効率性を優先し、形式にこだわらないメニューを臨機応変に提供していることが分かった。なお、栄養バランスについては、両世代とも比較的良く考慮されていた。

## むすび

以上みてきたように、総じていえば、松戸市民の食に関する意識は決して低いものではない。しかし、問題がないわけではない。本アンケート調査結果から、食育に関する意識は、世代間で最も大きな差があり、次いで性別で違いが認められた。他方で、世代間で関心が共通する項目もある。

世代別にみると、40歳未満の世代は、食に関する知識や配慮の点で、40歳以上の世代より低位にあるといえる。また、性別では、男性で同様に食育意識が低い傾向がある。裏返せば、40歳以上の女性は、食育に関してより知識もあり積極的といえる。

世代間で関心の共通する項目は、子供への食育やごみ問題などで、世代間で異なる項目は、安全性や健康問題である。

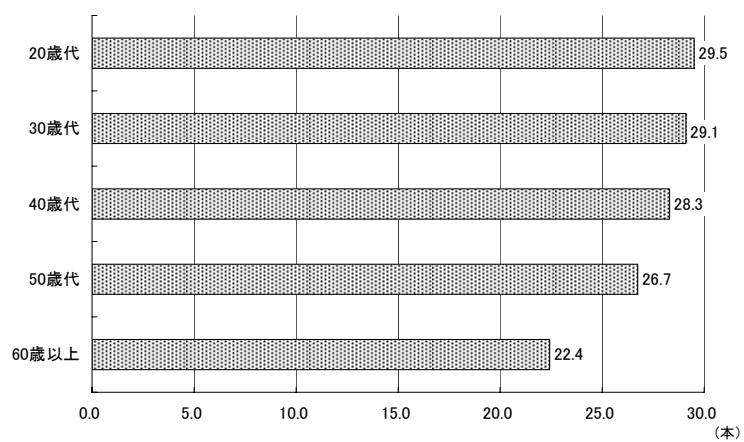
このことから、食育に関する今後の課題は、以下の点が指摘できる。

- 1) 子育てや仕事に忙しい40歳未満の世代への食育意識の向上が課題
- 2) 世代間で関心が異なる項目については、その点を配慮した、食育施策設計が必要であることを示唆する。
- 3) 世代間の関心や知識の差は、同時に世代間の補完的役割を示唆する。このことから、例えば、ボランティア意識の高い中高年世代が食育ボランティアなどで子育てに忙しい世代を食育面でサポートするなど世代間補完機能を発揮するようなことも検討に値すると考える。

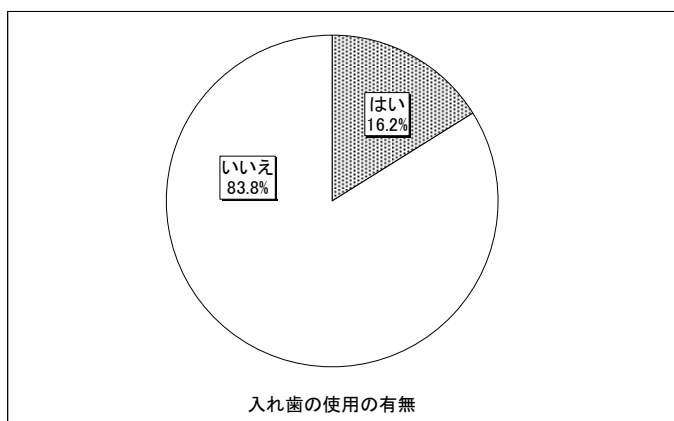
(大江靖雄・栗原伸一・霜浦森平)

## 調査結果の分析（歯科に関するもの）

問 19 入れ歯使用の有無



問 20 入れ歯使用の有無



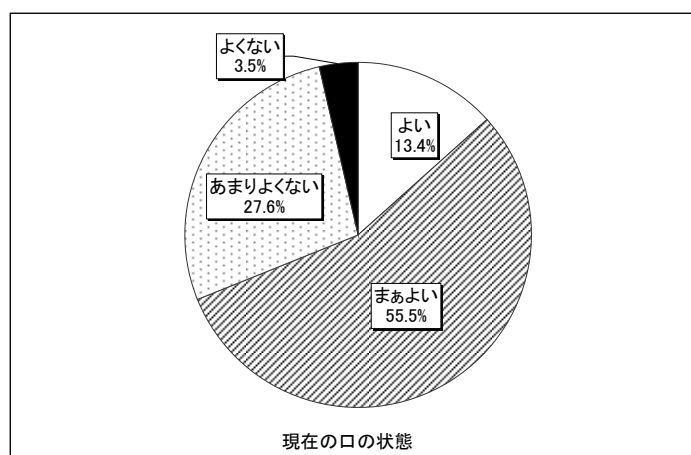
(世代別)

年齢	はい (%)	いいえ (%)
20歳代	1.8	97.7
30歳代	2.1	97.9
40歳代	8.5	91.5
50歳代	17.9	82.1
60歳以上	47.2	52.8



現在歯数は50歳代、そして60歳以上から大きく減少している(喪失歯の増加)。入れ歯の使用については、50歳代から多くなり、60歳以上では約半数が使用している。入れ歯の適切な使用やケアが食の満足度を高めることは勿論であるが、歯の喪失の防止に努め、入れ歯にならないケアも早い年齢から必要と思われる。入れ歯の使用の割合が40歳以上で統計学的に有意に高く、加齢と共に喪失歯が増加することは避けられないが、喪失歯数をできるだけ少なくすることが重要と考えられる。

問 21 現在の口の健康状態 (自己評価)



(世代別)

年齢	よい (%)	よくない (%)
20歳代	72.4	28.2
30歳代	67.9	32.1
40歳代	66.2	33.8
50歳代	69.1	30.9
60歳以上	70.0	30.0

該当する(はい)割合 (%)	世代別		統計学的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	40歳未満	40歳以上	
入れ歯の使用しているか	2.0	24.5	***
現在の口の健康状態はよいですか(よい+まあよい)	69.4	68.4	ns

注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

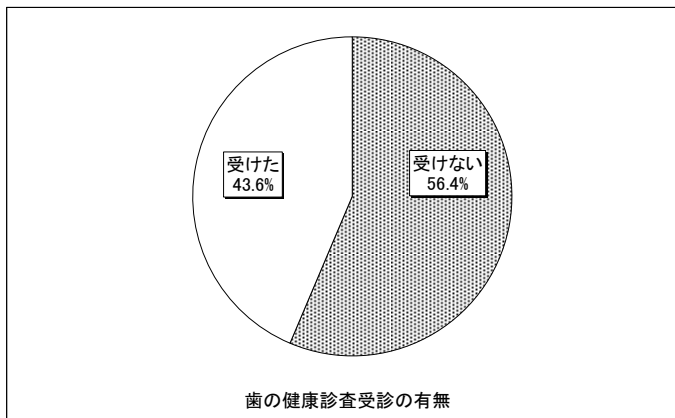
口の

健康の自己評価については約7割の者が良い(「よい」+「まあよい」と回答しており、年代間には大きな差異はなく、40歳以上と40歳未満においても有意な差がない。これら、「よくない」、あるいは「あまりよくない」とする市民を減少させることが必要である。

問 22 前回いつ歯科治療を受けたか

年齢	人数	年	月前
20歳代	155	2	7
30歳代	269	2	7
40歳代	203	2	3
50歳代	300	2	3
60歳以上	230	1	9

問 23 1年間に歯の健康診査を受けたか



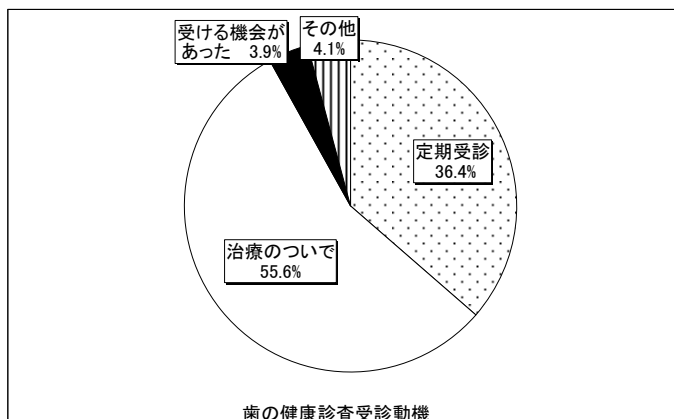
(年代別)

年齢	受けた (%)	受けない (%)
20歳代	38.0	62.0
30歳代	37.1	62.9
40歳代	38.7	61.3
50歳代	48.7	51.3
60歳以上	53.3	46.7

該当する(はい)割合 (%)	世代別		統計学的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	40歳未満	40歳以上	
この1年間で歯の健康診査を受けましたか	29.9	47.3	***

注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

問 24 歯の健康診査を受けた理由

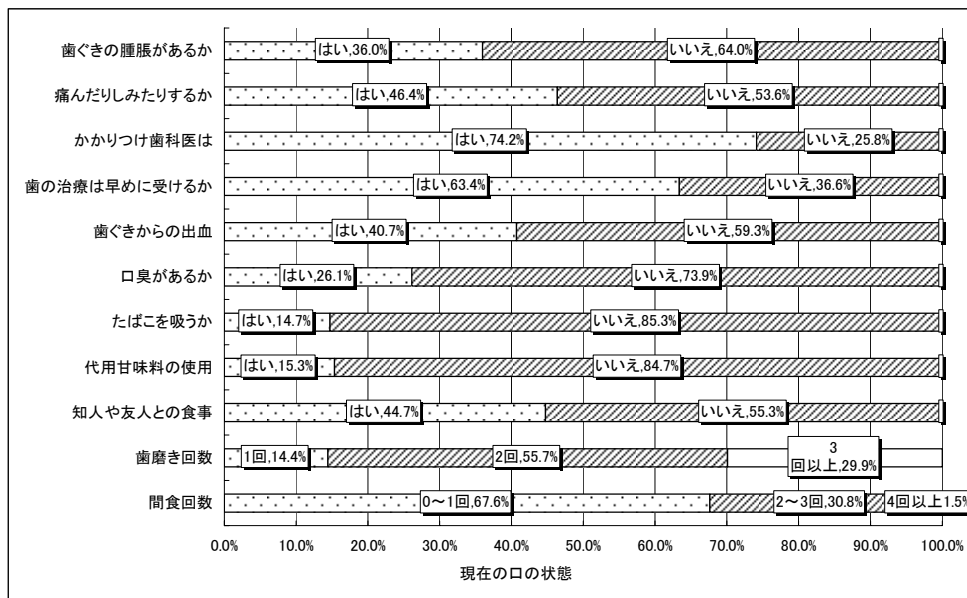


(世代別)

年齢	定期受診 (%)	治療のついで (%)	受ける機会があった (%)	その他 (%)
20歳代	21.5	61.5	10.8	6.2
30歳代	39.6	49.1	5.7	5.7
40歳代	38.8	54.1	5.9	1.2
50歳代	35.5	60.5	0.7	3.3
60歳以上	40.6	53.1	1.6	4.7

前回の歯科治療の間隔は、年齢層が高いほど短くなっている。治療間隔が短くなる理由が、早期治療によるものなのか、疾患に罹患しやすいためなのか不明である。この1年間で歯の健康診査を受けた市民は43.6%と半数を割っており、疾患を放置している可能性もあるため、かかりつけ歯科医などによる早期診断、早期治療が望まれる。さらに、この1年間の健康診査の受診者を世代別に見ると、40歳未満で有意に少なく、かかりつけ歯科医などによる1年に1度の定期健診が望まれる(特に20歳代の定期受診が少ない)。

問 25 現在の口の状態



(世代別)

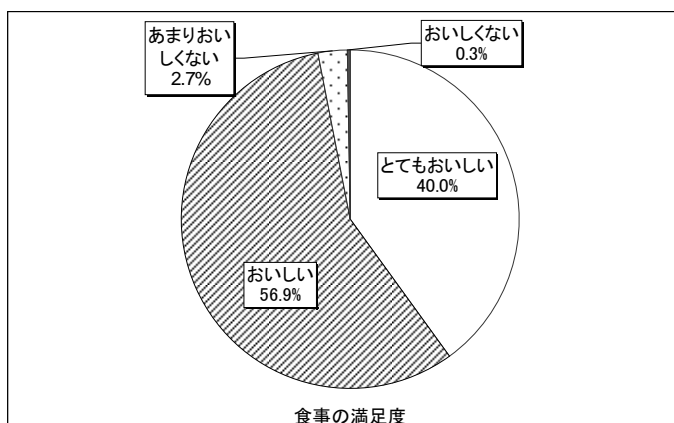
現在の口の状態についての項目該当する (はい)割合(%)	世代別				
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
歯ぐきの腫脹がありますか	28.1	33.3	33.8	44.9	35.4
歯の痛みやしみたりしますか	41.2	50.2	45.3	47.0	45.7
かかりつけ歯科医のいますか	52.0	62.1	75.9	83.6	90.2
歯の治療の早期受診をしますか	51.5	56.7	60.4	67.3	77.5
歯ぐきからの出血がありますか	52.0	45.6	36.8	40.6	30.4
口臭の自覚(強い)がありますか	21.2	27.8	29.4	26.0	24.8
たばこを吸いますか	18.1	17.5	11.6	14.8	11.7
代用甘味料食品を好んで飲食しますか	18.9	18.1	17.9	9.4	14.8
知人や友人とのよく食事をしますか	56.8	44.9	38.5	40.7	47.0
一日に2回以上歯磨きをしますか	81.3	86.6	85.8	87.8	84.4
一日に2回以上間食をしますか	31.8	31.5	31.3	35.7	30.5

現在の口の状態についての項目 該当する(はい)割合(%)	世代別		統計学的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	40歳未満	40歳以上	
歯ぐきの腫脹がありますか	31.4	38.8	*
歯の痛みやしみたりしますか	46.3	46.1	ns
かかりつけ歯科医のいますか	58.3	83.5	***
歯の治療の早期受診をしますか	54.8	68.5	***
歯ぐきからの出血がありますか	48.0	36.4	***
口臭の自覚(強い)がありますか	25.3	26.6	ns
たばこを吸いますか	17.2	12.9	*
代用甘味料食品を好んで飲食しますか	18.4	13.5	*
知人や友人とのよく食事をしますか	49.3	41.9	*
一日に2回以上歯磨きをしますか	84.6	86.2	ns
一日に2回以上間食をしますか	31.6	32.8	ns

注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

40歳以上と40歳未満の者を比較すると、かかりつけ歯科医師の存在と早期受診について、40歳以上で有意に高いという結果であった。かかりつけ歯科医師の存在は、一般に受診行動につながると考えられるが、今回の結果で早期受診も同様に高かったことは、そのことを裏付けるものであろう。口腔の臨床症状である口臭、痛みとしみは世代間に差はなく、歯周病に関する歯肉の腫脹と出血は世代間に差が認められた。歯科保健行動および食生活習慣(行動)においては、歯磨き回数と間食回数については40歳以上と40歳未満では有意な差なく、喫煙習慣(40歳未満)、代用甘味料の使用及び知人や友人との食事については有意な差が認められた(40歳未満が高い)。全体として、40歳未満の市民がかかりつけ歯科医師を持つことや歯の治療の早期受診などの受診行動の向上が課題と思われる。また口の健康を長期にわたって維持することについては、疾患の予防が重要かつ効果的であり、日常の適切な口腔清掃と食生活習慣、定期的な健康診断が必要である。

問 26 食事がおいしいと感じるか (食事の満足度)



(世代別)

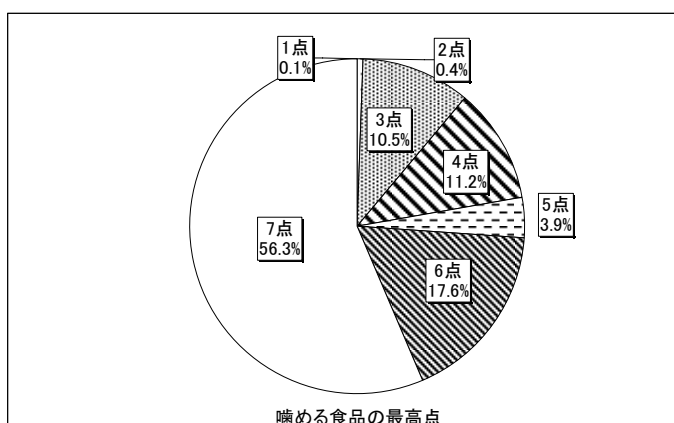
年齢	とてもおいしい (%)	おいしい (%)	あまりおいしくない (%)	おいしくない (%)
20歳代	49.1	48.5	2.3	0.0
30歳代	47.2	50.7	2.1	0.0
40歳代	37.8	59.6	1.8	0.9
50歳代	36.1	62.3	1.6	0.0
60歳以上	32.3	60.9	6.0	0.8

該当する(はい)割合 (%)	世代別		統計学的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	40歳未満	40歳以上	
食事がおいしいですか(とてもおいしい+おいしい)	97.8	96.4	ns
食事がとてもおいしい(とてもおいしいのみの割合)	47.9	35.4	***

注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

多くの市民が食事がおいしい(とてもおいしい+おいしい)と回答していた。しかし、とてもおいしいと回答した者については年齢の上昇とともに減少し、40歳以上と40歳未満では40歳未満の者が有意に高かった。

### 問 27 噛める食品の最高点



### 山本式咀嚼能率判定食品の分類により咀嚼能率判定 (スコアが高いほど咀嚼能率は高い)

年齢	1点 (%)	2点 (%)	3点 (%)	4点 (%)	5点 (%)	6点 (%)	7点 (%)
20歳代	0.0	0.0	4.8	4.0	5.6	22.2	63.5
30歳代	0.0	0.0	4.3	4.8	2.9	16.7	71.4
40歳代	0.0	1.1	7.9	7.3	6.2	13.0	64.4
50歳代	0.4	0.0	9.5	12.5	3.8	20.1	53.8
60歳以上	0.0	0.9	23.1	23.1	2.3	16.7	33.8

### 山本式咀嚼能率判定食品の分類により咀嚼能率判定(スコアが高値ほど咀嚼能率が高い)

該当する割合 (%)	世代別		統計学的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	40歳未満	40歳以上	
7点以上の割合	68.5	50.1	***

山本式咀嚼能率判定食品の分類により咀嚼能率判定(スコアが高値ほど咀嚼能率が高い)  
注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

山本式咀嚼能率判定食品の分類により咀嚼能率判定(スコアが高値ほど咀嚼能率が高い)を行い、噛める食品の最高点(質問は噛みにくいのはどれですか)を各回答者のスコアとした。

20歳代~40歳代では最高値(7点)であるスコア割合に大きな変化がないが、50歳代そして60歳以上になるとスコアは低下し、低スコアの割合が増加する傾向を示した。咀嚼能力(能率)については現在歯数に大きく影響を受ける。歯の喪失防止には歯科疾患

の早期発見・早期治療に努めることや、う蝕および歯周病の予防のためのセルフケア(日常の口腔清掃習慣の確立)や定期的な歯科健康診査の受診に努めることが必要と考えられる。

### 「食育に対する関心度」, 「食の満足度」および「自己の口腔の健康評価」に対する口腔保健状況の関連する項目の分析結果について

ここでは、まず、二項ロジスティック回帰分析によって一次的に各項目の関連を分析し、その結果をもとに多項ロジスティック回帰分析によって詳細な関連性を求めた結果を示す。

食育への関心度と関連性のある項目	統計的検定結果	odds比
この1年間に歯の健康診査を受けている	ns	-
かかりつけの歯医者さんがいる	***	2.01
一日の歯磨きの回数が多い	*	1.38
食事がおいしい	***	1.75

(多項ロジスティック回帰分析)

注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

「食育に対する関心度」と歯

科に関する質問項目について関連性の分析(二項ロジスティック回帰分析)を行ったところ、「この1年間に歯の健康診査を受けている」、「かかりつけの歯医者さんがいる」、「一日の歯磨きの回数が多い」、および「食事がおいしい」の4項目と有意な関連が認められた。この4項目について二次的な関連性の分析を行った結果(多項ロジスティック回帰分析)、表に示す項目で有意な関連性が認められた。

これにより「食育に対する関心度」が高い市民は、食事がおいしいと感じており、かかりつけ歯科医がいることなど受診行動についての意識が高く、適切な口腔清掃習慣が身につけていることが考えられる。

食事の満足度と関連性のある項目	統計的検定結果	odds比
現在歯数が多い	*	1.08
入れ歯を使用していない	ns	-
歯ぐきが腫れることがない	ns	-
歯の痛みやしみたりすることがない	ns	-
口臭の自覚がない(弱い)	*	2.2
たばこを吸わない	**	2.85
知人や友人とよく食事をする	*	2.25
一日の歯磨きの回数が多い	ns	-

(多項ロジスティック回帰分析)

注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

「食事がおいしいと感じている」(食事の満足度)ということと歯科に関する質問項目の関連性の分析(二項ロジスティック回帰分析)を行い、「現在歯数が多い」、「入れ歯を使用していない」、「歯ぐきが腫れることがない」、「歯の痛みやしみたりすることがない」、「口臭の自覚がない(弱い)」、「たばこを吸わない」、「知人や友人とよく食事をする」、および「一日の歯磨きの回数が多い」の8項目と有意な関連が認められた。この8項目について二次的な関連性の分析を行った結果(多項ロジスティック回帰分析)、表に示す項目で有意な関連が認められた。

これにより食事の満足度に関係している因子としては、現在歯数の多さや口臭の自覚がない(弱い)などの口腔の健康状態、喫煙習慣がない(非喫煙)及び知人や友人と食事をする回数が多いという食生活行動に関連していることが考えられる。

自己の口腔の健康についての評価と関連性のある項目	統計的検定結果	odds比
メタボリックシンドロームの自覚はない	ns	-
現在歯数が多い	*	1.05
入れ歯を使用していない	**	2.05
この1年間に歯の健康診査を受けている	ns	-
歯ぐきが腫れることがない	***	2.58
歯の痛みやしみたりすることがない	***	2.15
歯の治療は早めに受けるようにしている	***	4.59
歯ぐきから血が出ることがない	**	1.58
口臭の自覚がない(弱い)	***	2.22
たばこを吸わない	ns	-
代用甘味料使用の食品を好んで飲食する	ns	-
一日の歯磨きの回数が多い	ns	-

(多項ロジスティック回帰分析)

注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

「自己の口腔の健康についての評価」に対して、メタボリック

シンドロームの自覚と歯科に関する項目について、関連性の分析(二項ロジスティック回帰分析)を行ったところ、「メタボリックシンドロームの自覚はない」、「現在歯数が多い」、「入れ歯を使用していない」、「この1年間に歯の健康診査を受けている」、「歯ぐきが腫れることがない」、「歯の痛みやしみたりすることがない」、「歯の治療は早めに受けるようにしている」、「歯ぐきから血が出ることがない」、「口臭の自覚がない(弱い)」、「たばこを吸わない」、「代用甘味料使用の食品を好んで飲食する」、および「一日の歯磨きの回数が多い」の12項目と有意な関連が認められた。この12項目について二次的な関連性の分析(多項ロジスティック回帰分析)を行った結果、表に示す項目で有意な関連が認められた。

自己の口腔の健康についての評価は、歯の治療は早めに受けるという受診行動、歯周病、う蝕および口臭の自覚症状がないことや入れ歯(義歯)を使用していないなどの良好な口腔環境と関連性があると考えられる。



## 小括

口腔の健康は食物摂取と密接な関係があり、その健康状態が良好で食物摂取に支障のないことは食の満足度にも影響するといわれている。本調査により食事がおいしく食べられること（食の満足度）については、“歯ぐきの腫れ、歯の痛みやしみたりすることがない”，特に“現在の歯の数が多い”ことなどの“口の健康状態”，および“たばこを吸わないこと”や“友人と食事をするという食生活習慣”が関連していると認められた。また、咀嚼能力(能率)については世代間で大きな差が認められたが、その低下は今回の食育推進計画の基本目標の一つである「よく噛んで食べこと」に支障をきたし、日常における調理形態や料理のメニューも限定され、食内容の幅を狭めることによって食生活に影響すると考えられる。

国の「健康日本 21」の指針における歯の健康については、歯の喪失防止を最も重要な目標として掲げており、その目標を達成するためには歯科疾患の早期発見・早期治療に努めることが必要であり、う蝕および歯周病の予防のためのセルフケア(日常の口腔清掃習慣の確立)に加え、定期的な歯科健康診査の受診による第一次予防(疾病発病前の健康増進や特異的予防)が最も重要である。また、本調査結果から、たばこを吸わないことや家族を含めた知人や友人との共に食事をするなどの食生活を含めた生活習慣の改善も必要と考えられる。特に高齢者において、口腔の健康状態が良いとの自己評価した者は体の状態が良く、毎日の生活が楽しいという結果が報告されている。本調査では20歳以上で口の健康状態を良い(「よい」+「まあよい」)と回答した割合が現在7割弱であるが、将来的には8割以上の割合の者が良いとされるような到達目標を置き、広報活動など市民の意識を向上させることが必要と思われる。口腔の健康に努めることによって、食の満足度の向上、さらには全身の健康の増進や生活の質 QOL の向上につながるであろう。

(妻鹿純一)



## 質問と回答（単純集計結果）

問1 あなたは「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 言葉も意味も知っていた	634	50.2%
イ 言葉は知っていたが、意味は知らなかった	485	38.4%
ウ 言葉も意味も知らなかった	136	10.8%
無回答	7	0.6%
全体	1,262	100.0%

問2 あなたは「食育」に関心がありますか、それとも関心がありませんか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア ある	466	36.9%
イ どちらかといえばある	602	47.7%
ウ どちらかといえはない	121	9.6%
エ ない	23	1.8%
オ 分からない	36	2.9%
無回答	14	1.1%
全体	1,262	100.0%

問3 【問2で「ア」、「イ」と答えた方に】

食育に関心がある理由は何ですか。(3つまで○)

	回答数	構成比
ア 心身の健全な発育	669	62.6%
イ 食生活の乱れ	452	42.3%
ウ 肥満・痩せの増加	172	16.1%
エ 生活習慣病	526	49.3%
オ 食の安全確保	515	48.2%
カ 食文化や地域の伝統	109	10.2%
キ 食料自給率低下	127	11.9%
ク 生産者との交流	14	1.3%
ケ 自然と調和した食料生産	63	5.9%
コ 食べ物の無駄	162	15.2%
サ 食や自然に対する感謝	185	17.3%
シ その他	9	0.8%
全体	1,068	

問4 食育に関するボランティアに参加したことがありますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア ある	32	2.5%
イ ないが、機会があれば参加してみたい	735	58.2%
ウ 興味がない	449	35.6%
無回答	46	3.6%
全体	1,262	100.0%

問5 【問4で「イ」と答えた方に】

どのような活動に参加してみたいですか。(3つまで○)

	回答数	構成比
ア 郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動	260	35.4%
イ 農林漁業などに関する体験活動	132	18.0%
ウ 食生活の改善に関する活動	292	39.7%
エ 生活習慣病予防などのための料理教室	391	53.2%
オ 食品廃棄や食品リサイクルに関する活動	156	21.2%
カ 食品の安全や表示に関する活動	255	34.7%
キ 食育に関する国際交流活動	92	12.5%
ク その他	8	1.1%
ケ 分からない	18	2.4%
全体	735	

問6 あなたは朝食をどの程度の頻度で取っていますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 毎日取っている	1,059	83.9%
イ 平日のみ	41	3.2%
ウ 週に2~3回	77	6.1%
エ ほとんど取らない	82	6.5%
無回答	3	0.2%
全体	1,262	100.0%

問7 このアンケートの表紙にある食事バランスガイドを参考に食生活を送っていますか。  
(1つに○)

	回答数	構成比
ア 参考にしている	141	11.2%
イ まあまあ参考にしている	483	38.3%
ウ 知っているが参考にはしていない	426	33.8%
エ 知らなかった	204	16.2%
無回答	8	0.6%
全体	1,262	100.0%

問8 ご自宅で行事食を伴う伝統的な行事を年間にどの程度行なっていますか。

(1つに○)

	回答数	構成比
ア 全く行わない	55	4.4%
イ 1～2回	204	16.2%
ウ 3～4回	311	24.6%
エ 5～6回	292	23.1%
オ 7回以上	395	31.3%
無回答	5	0.4%
全体	1,262	100.0%

問9 冷凍食品の利用状況についてお聞かせ下さい。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 普段の食事に積極的に利用している	105	8.3%
イ 時々利用している	548	43.4%
ウ お弁当などにのみ利用している	238	18.9%
エ あまり利用しない	242	19.2%
オ ほとんど利用しない	121	9.6%
無回答	8	0.6%
全体	1,262	100.0%

問10 食品を購入するときに、もっとも気をつけていることは何ですか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 栄養面	236	18.7%
イ 安全性	561	44.5%
ウ 味や好み	208	16.5%
エ 食費	170	13.5%
オ 料理の手間	51	4.0%
無回答	36	2.9%
全体	1,262	100.0%

問11 野菜や肉などの生鮮食品の購入時に産地はチェックしていますか？(1つに○)

	回答数	構成比
ア 常にしている	810	64.2%
イ ときどきしている	374	29.6%
ウ していない	71	5.6%
無回答	7	0.6%
全体	1,262	100.0%

問12 地元産の食材を購入していますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 積極的に購入するようにしている	203	16.1%
イ 目に付けば購入するようにしている	532	42.2%
ウ 少しでも高ければ購入しない	157	12.4%
エ 地元かどうか気にしていない	359	28.4%
無回答	11	0.9%
全体	1,262	100.0%

問13 あなたは食品の安全性に関する基礎的な知識を持っていますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 持っている	110	8.7%
イ まあ持っている	521	41.3%
ウ どちらともいえない	428	33.9%
エ あまり持っていない	164	13.0%
オ 持っていない	33	2.6%
無回答	6	0.5%
全体	1,262	100.0%

問14 普段、生鮮食品は主にどこで購入していますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア スーパー	985	78.1%
イ 生協(店舗・共同購入)	160	12.7%
ウ 各種通販・宅配	4	0.3%
エ デパート	22	1.7%
オ 八百屋や精肉店	45	3.6%
カ コンビニ	5	0.4%
キ その他	11	0.9%
無回答	30	2.4%
全体	1,262	100.0%

問15 子供達への食育の場として、学校と家庭とではどちらが重要だと思いますか。

(1つに○)

	回答数	構成比
ア 学校の方	6	0.5%
イ やや学校の方	15	1.2%
ウ 同じくらい	327	25.9%
エ やや家庭の方	321	25.4%
オ 家庭の方	568	45.0%
無回答	25	2.0%
全体	1,262	100.0%

問16 あなたは、メタボリックシンドロームという言葉やその意味を知っていましたか。

(1つに○)

	回答数	構成比
ア 言葉も意味も良く知っていた	512	40.6%
イ 言葉も知っていたし、意味も大体知っていた	613	48.6%
ウ 言葉は知っていたが、意味はあまり知らなかった	104	8.2%
エ 言葉は知っていたが、意味は知らなかった	16	1.3%
オ 言葉も意味も知らなかった	13	1.0%
無回答	4	0.3%
全体	1,262	100.0%

問17 あなたご自身はメタボリックシンドロームに該当すると思いますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 該当する	129	10.2%
イ 予備群である	382	30.3%
ウ 該当しない	676	53.6%
エ 分からない	69	5.5%
無回答	6	0.5%
全体	1,262	100.0%

問18 あなたは散歩や水泳など、定期的に運動をしていますか？(1つに○)

	回答数	構成比
ア 毎日している	149	11.8%
イ 週に数回している	305	24.2%
ウ 週に1回程度	197	15.6%
エ あまりしていない	603	47.8%
無回答	8	0.6%
全体	1,262	100.0%



問19 あなたの歯の数は現在何本ですか。なお、成人の歯は、親知らずが4本はえて全部で32本です。なお、かぶせた歯(金歯、銀歯など)、さし歯、根だけ残っている歯は含みますが、入れ歯などの歯根がない部分は除きます。(括弧内に本数を数字でご記入下さい)

( 27.1 )本 ※平均

問20 あなたは入れ歯を使用していますか？(1つに○)

	回答数	構成比
ア はい	202	16.0%
イ いいえ	1,046	82.9%
無回答	14	1.1%
全体	1,262	100.0%

問21 あなたの現在のお口の全体的な健康状態はどうか？(1つに○)

	回答数	構成比
ア よい	167	13.2%
イ まあよい	690	54.7%
ウ あまりよくない	343	27.2%
エ よくない	44	3.5%
無回答	18	1.4%
全体	1,262	100.0%

問22 前回、いつ歯科治療を受けましたか。(数を記入)

およそ ( 2 ) 年 ( 3 ) ケ月前 ※平均

問23 この1年間に歯の健康診査を受けましたか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 受けない	700	55.5%
イ 受けた	542	42.9%
無回答	20	1.6%
全体	1,262	100.0%

問24 【問23で「イ」と答えた方に】

どのような理由で受診しましたか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 定期的に受けているから	195	36.0%
イ 歯科治療のついでに	298	55.0%
ウ 職場や保健センターなどで受ける機会があったから	21	3.9%
エ その他	22	4.1%
無回答	6	1.1%
全体	542	100.0%

問25 あなたのお口の健康状態について以下の質問に回答ください。

(それぞれ1つに○)

		ア はい	イ いいえ	無回答	全体
・歯ぐきが腫れることがありますか	回答数	437	778	47	1,262
	構成比	34.6%	61.6%	3.7%	100.0%
・歯が痛んだり、しみたりすることがありますか	回答数	563	651	48	1,262
	構成比	44.6%	51.6%	3.8%	100.0%
・かかりつけの歯医者さんはいますか	回答数	921	321	20	1,262
	構成比	73.0%	25.4%	1.6%	100.0%
・歯の治療は早めに受けるようにしていますか	回答数	780	451	31	1,262
	構成比	61.8%	35.7%	2.5%	100.0%
・歯ぐきから血が出ることはありませんか	回答数	501	730	31	1,262
	構成比	39.7%	57.8%	2.5%	100.0%
・口臭が強い(ある)という自覚はありますか	回答数	320	905	37	1,262
	構成比	25.4%	71.7%	2.9%	100.0%
・たばこを吸いますか	回答数	182	1,054	26	1,262
	構成比	14.4%	83.5%	2.1%	100.0%
・代用甘味料使用の食品を好んで飲食しますか	回答数	188	1,037	37	1,262
	構成比	14.9%	82.2%	2.9%	100.0%
・知人や友人とよく食事をしますか	回答数	540	667	55	1,262
	構成比	42.8%	52.9%	4.4%	100.0%

・歯磨きを1日何回しますか

	回答数	構成比
ア 1回	179	14.2%
イ 2回	691	54.8%
ウ 3回以上	371	29.4%
無回答	21	1.7%
全体	1,262	100.0%

・間食は1日何回とりますか

	回答数	構成比
ア 0～1回	834	66.1%
イ 2～3回	380	30.1%
ウ 4回以上	19	1.5%
無回答	29	2.3%
全体	1,262	100.0%

問26 食事がおいしいと感じていますか？（1つに○）

	回答数	構成比
ア とてもおいしい	498	39.5%
イ おいしい	709	56.2%
ウ あまりおいしくない	34	2.7%
エ おいしくない	4	0.3%
無回答	17	1.3%
全体	1,262	100.0%

問27 以下の食品について嚙(か)みにくいのは何ですか？（該当するもの全てに○）

- |              |             |             |             |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. スープ       | 2. おかゆ      | 3. とうふ      | 4. プリン      |
| 5. ごはん       | 6. 煮魚       | 7. はんぺん     | 8. うなぎかばやき  |
| 9. まぐろのさしみ   | 10. おこわ     | 11. ちくわ     | 12. 固いビスケット |
| 13. かまぼこ     | 14. こんにゃく   | 15. ハム      | 16. いかのさしみ  |
| 17. フランスパン   | 18. ビフテキ    | 19. とり貝     | 20. おこし     |
| 21. なまこ      | 22. するめ     | 23. いか      | 24. らっきょう   |
| 25. 貝柱の干物    | 26. 酢だこ     | 27. くらげの酢の物 | 28. ピーナッツ   |
| 29. 雑煮もち     | 30. 生あわび    | 31. たくわん    | 32. 堅焼きせんべい |
| 33. チューイングガム | 34. りんご丸かじり | 35. みかんの袋   |             |

【山本式咀嚼能率判定食品の分類により咀嚼能力判定】

	判定数	構成比
1点	1	0.1%
2点	4	0.3%
3点	104	8.2%
4点	111	8.8%
5点	39	3.1%
6点	175	13.9%
7点	559	44.3%
無回答	269	21.3%
全体	1,262	100.0%

問28 以前に比べて、(1人当たりの)家庭ごみを出す量は変わりましたか。

(1つに○)

	回答数	構成比
ア 増えている	67	5.3%
イ 少し増えている	200	15.8%
ウ 変わらない	616	48.8%
エ 少し減っている	289	22.9%
オ 減っている	79	6.3%
無回答	11	0.9%
全体	1,262	100.0%

問29 普段、「燃やせるごみ」は1週間に何袋ぐらい出していますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 0袋	34	2.7%
イ 1～2袋	723	57.3%
ウ 3～4袋	459	36.4%
エ 5～6袋	29	2.3%
オ 7～8袋	4	0.3%
カ 9袋以上	0	0.0%
無回答	13	1.0%
全体	1,262	100.0%

問30 買い物袋は持参しますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 常に持参する	325	25.8%
イ たまに持参する	451	35.7%
ウ あまり持参しない	205	16.2%
エ 持参しない	275	21.8%
無回答	6	0.5%
全体	1,262	100.0%

問31 あなたは生ごみ処理容器(コンポスト)等を使用していますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 使用している	55	4.4%
イ 持っているが使っていない	33	2.6%
ウ ほしいと思っている	241	19.1%
エ 持っていない	918	72.7%
無回答	15	1.2%
全体	1,262	100.0%

問32 【問31で「ア」、「イ」と答えた方に】

購入の際に市の補助金制度を利用しましたか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 利用した	41	46.6%
イ 知っていたが利用しない	17	19.3%
ウ 知らなかった	28	31.8%
無回答	2	2.3%
全体	88	100.0%

問33 あなたと配偶者の家を出る時間と帰宅時刻を教えてください。

(それぞれ時刻を記入)

【およその平均時刻】

・回答者(働いている場合) の家を出る時刻:	8時20分ごろ
帰宅時刻:	18時52分ごろ
・配偶者(いらっしゃる場合) の家を出る時刻:	7時40分ごろ
帰宅時刻:	20時07分ごろ

問34 あなたは地域の活動に参加していますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 積極的に参加	37	2.9%
イ まあ積極的	179	14.2%
ウ やや消極的	361	28.6%
エ 参加していない	670	53.1%
無回答	15	1.2%
全体	1,262	100.0%

問35 旅行やキャンプなどで、家族や友人と農山漁村へ行くことはありますか。

(1つに○)

	回答数	構成比
ア ほぼ毎週	6	0.5%
イ 月に数回	13	1.0%
ウ 月に1回程度	30	2.4%
エ 年に数回	434	34.4%
オ あまり行かない	765	60.6%
無回答	14	1.1%
全体	1,262	100.0%

問36 あなたは趣味として、野菜や果物の栽培などの農作業をすることはありますか。  
(1つに○)

	回答数	構成比
ア ない	903	71.6%
イ ある	333	26.4%
無回答	26	2.1%
全体	1,262	100.0%

問37 【問36で「イ」と答えた方に】

農作業の場所はどのようなところですか。(該当場所全てに○)

	回答数	構成比
ア 自宅の庭	184	55.3%
イ ベランダや屋内	93	27.9%
ウ 自家所有の畑	22	6.6%
エ 市民農園や知り合いの畑	46	13.8%
オ その他	19	5.7%
全体	333	

問38 【問36で「イ」と答えた方に】

だれと一緒に作業していますか。(該当者全てに○)

	回答数	構成比
ア 配偶者	128	38.4%
イ 子供	56	16.8%
ウ 孫	6	1.8%
エ 友人・知人	15	4.5%
オ 自分ひとり	108	32.4%
カ 親	47	14.1%
キ 祖父母	13	3.9%
ク その他	10	3.0%
全体	333	

問39 食育に関して市に期待する施策は何ですか。(3つまで○)

	回答数	構成比
ア 食と健康に関する市民講座や教室を開催する	312	24.7%
イ 学校給食で地元農産物の利用を促進する	476	37.7%
ウ 直売所など地元産農産物を購入できる場所を整備する	733	58.1%
エ 市民参加型の体験農園などを増やす	206	16.3%
オ 学校・幼稚園などでの作物栽培・料理の機会を増やす	385	30.5%
カ 食品廃棄の削減や食品リサイクルに関する活動に取り組む	399	31.6%
キ 郷土料理、伝統料理などの優れた食文化の継承に取り組む	288	22.8%
ク とくにない	110	8.7%
ケ その他	27	2.1%
全体	1,262	

問40 あなたの性別は次のどちらですか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 女性	1,024	81.1%
イ 男性	233	18.5%
無回答	5	0.4%
全体	1,262	100.0%

問41 あなたの年齢は次のどれに該当しますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 20歳代	171	13.5%
イ 30歳代	291	23.1%
ウ 40歳代	226	17.9%
エ 50歳代	314	24.9%
オ 60歳以上	252	20.0%
無回答	8	0.6%
全体	1,262	100.0%

問42 配偶者(妻、または夫)はおられますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア いる	956	75.8%
イ いない	299	23.7%
無回答	7	0.6%
全体	1,262	100.0%

問43 あなたは松戸市に住むようになっておよそ何年になりますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 5年未満	211	16.7%
イ 5～10年未満	153	12.1%
ウ 10～20年未満	229	18.1%
エ 20～30年未満	304	24.1%
オ 30年以上	360	28.5%
無回答	5	0.4%
全体	1,262	100.0%



問44 あなたがお住まいの地域は以下のどれに該当しますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 住宅地	1,177	93.3%
イ 商業地・工業地	53	4.2%
ウ 農村地域	18	1.4%
無回答	14	1.1%
全体	1,262	100.0%

問45 あなたの主な職業は次のどれに該当しますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 会社員	300	23.8%
イ 公務員・団体職員	59	4.7%
ウ 自営業	64	5.1%
エ 農業	9	0.7%
オ パート・アルバイト	260	20.6%
カ 専業主婦(夫)	413	32.7%
キ 学生	19	1.5%
ク 無職	96	7.6%
ケ その他	33	2.6%
無回答	9	3.5%
全体	1,262	100.0%

問46 同居家族の年齢別人数についてお聞きします。

(イの場合は、あなたを除いた人数を記入)

・0～5歳

	回答数	構成比
ア いない	797	63.2%
イ いる 1人	148	11.7%
2人	49	3.9%
3人	1	0.1%
無回答	267	21.2%
全体	1,262	100.0%

・6～14歳

	回答数	構成比
ア いない	790	62.6%
イ いる 1人	129	10.2%
2人	77	6.1%
3人	6	0.5%
無回答	260	20.6%
全体	1,262	100.0%

・ 15～19歳

	回答数	構成比
ア いない	814	64.5%
イ いる 1人	127	10.1%
2人	34	2.7%
3人	1	0.1%
無回答	286	22.7%
全体	1,262	100.0%

・ 20～64歳

	回答数	構成比
ア いない	180	14.3%
イ いる 1人	581	46.0%
2人	249	19.7%
3人	138	10.9%
4人	29	2.3%
5人	9	0.7%
無回答	76	6.0%
全体	1,262	100.0%

・ 65歳以上

	回答数	構成比
ア いない	659	52.2%
イ いる 1人	234	18.5%
2人	68	5.4%
3人	4	0.3%
4人	1	0.1%
無回答	296	23.5%
全体	1,262	100.0%

問47 あなたの世帯では何世代が同居していますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 一人暮らし	110	8.7%
イ 夫婦のみ	348	27.6%
ウ 二世世代家族	689	54.6%
エ 三世世代家族	63	5.0%
オ 四世代以上	5	0.4%
無回答	47	3.7%
全体	1,262	100.0%

問48 お子様の食事についておうかがいします。お子様が複数いらっしゃる場合は、一番下のお子様についてお答え下さい(ただし、小学生以上)。本日が週末の場合は、平日の金曜日の朝夕食の内容をお願いします。

・今日の朝食

	回答数	構成比
ア 取った	206	99.0%
イ 取っていない	2	1.0%
ウ 分からない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
全体	208	100.0%

・昨日の夕食

	回答数	構成比
ア 取った	205	98.6%
イ 取っていない	0	0.0%
ウ 分からない	1	0.5%
無回答	2	1.0%
全体	208	100.0%

問49 そのお子様は誰と一緒に食べていましたか。(それぞれ該当する者全てに○)

・朝食

	回答数	構成比
ア ひとりで	24	11.5%
イ 父	59	28.4%
ウ 母	124	59.6%
エ 兄妹	114	54.8%
オ 祖父母	24	11.5%
カ その他	1	0.5%
キ 分からない	0	0.0%
全体	208	

・夕食

	回答数	構成比
ア ひとりで	2	1.0%
イ 父	78	37.9%
ウ 母	183	88.8%
エ 兄妹	142	68.9%
オ 祖父母	35	17.0%
カ その他	3	1.5%
キ 分からない	0	0.0%
全体	206	

問50 そのお子様はどこで食べていましたか。(それぞれ1つに○)

・朝食

	回答数	構成比
ア 居間・ダイニング	203	97.6%
イ 子供部屋	2	1.0%
ウ 外食	0	0.0%
エ その他	1	0.5%
オ 分からない	0	0.0%
無回答	2	1.0%
全体	208	100.0%

・夕食

	回答数	構成比
ア 居間・ダイニング	199	96.6%
イ 子供部屋	2	1.0%
ウ 外食	3	1.5%
エ その他	1	0.5%
オ 分からない	0	0.0%
無回答	1	0.5%
全体	206	100.0%

問51 どの程度時間をかけていましたか。(それぞれ1つに○)

・朝食

	回答数	構成比
ア 5分以下	11	5.3%
イ 10分程度	90	43.3%
ウ 20分程度	90	43.3%
エ 30分以上	14	6.7%
オ 分からない	0	0.0%
無回答	3	1.4%
全体	208	100.0%

・夕食

	回答数	構成比
ア 10分以下	0	0.0%
イ 15分程度	38	18.4%
ウ 30分程度	129	62.6%
エ 45分以上	35	17.0%
オ 分からない	0	0.0%
無回答	4	1.9%
全体	206	100.0%

問5 2 あなたのお子様の食は乱れているとお考えですか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 乱れてはいない	46	22.1%
イ それほど乱れてはいない	106	51.0%
ウ どちらともいえない	22	10.6%
エ やや乱れている	30	14.4%
オ 乱れている	3	1.4%
無回答	1	0.5%
全体	208	100.0%

問5 3 【問5 2で「エ」、「オ」と答えた方に】

どのような点で食事の乱れを感じますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 食が細い	6	18.2%
イ 好き嫌いが激しい	17	51.5%
ウ 間食が多い	5	15.2%
エ 家族と一緒に食事を取っていない	0	0.0%
オ ゆっくり食事を取っていない	1	3.0%
無回答	4	12.1%
全体	33	100.0%

問5 4 子供部屋はありますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 個人用の部屋がある	87	41.8%
イ 兄妹で共用させている	85	40.9%
ウ ない	33	15.9%
無回答	3	1.4%
全体	208	100.0%

問5 5 お子様(小学生以上で一番下)の心身の状態をお聞かせ下さい。

(1つに○、括弧に数値記入)

・お子様の性別

	回答数	構成比
ア 男の子	112	53.8%
イ 女の子	93	44.7%
無回答	3	1.4%
全体	208	100.0%

	平均値
・お子様の年齢（歳）	9.4
・お子様の身長（cm）	134.9
・お子様の体重（kg）	31.7

・体の状態

	回答数	構成比
ア 大変良好	116	55.8%
イ まあ良好	87	41.8%
ウ どちらでもない	1	0.5%
エ あまり良好でない	2	1.0%
オ 良好でない	0	0.0%
無回答	2	1.0%
全体	208	100.0%

・心の状態

	回答数	構成比
ア 特に問題はない	162	77.9%
イ 落ち着きがない	24	11.5%
ウ キレやすい	8	3.8%
エ 内向的	8	3.8%
無回答	6	2.9%
全体	208	100.0%

・虫歯になった時

	回答数	構成比
ア すぐに治療する	176	84.6%
イ なかなか治療できない	14	6.7%
無回答	18	8.7%
全体	208	100.0%

・学校以外での歯科定期健診

	回答数	構成比
ア 年に数回	48	23.1%
イ 年に1回	48	23.1%
ウ 虫歯以外では行かない	101	48.6%
無回答	11	5.3%
全体	208	100.0%

問56 インスタントラーメンや炭酸飲料、菓子類の食べ過ぎを規制していますか。

(1つに○)

	回答数	構成比
ア 規制している	110	52.9%
イ 注意はするが規制はしていない	77	37.0%
ウ していない	19	9.1%
無回答	2	1.0%
全体	208	100.0%

問57 テレビや漫画、ゲームについての規制をしていますか？(1つに○)

	回答数	構成比
ア 時間など具体的に規制している	117	56.3%
イ 注意はするが規制はしていない	81	38.9%
ウ していない	8	3.8%
無回答	2	1.0%
全体	208	100.0%

問58 お子様の就寝時刻と起床時刻をお聞きします。(数を記入)

【およその平均時刻】	平均値
・就寝時刻	9時25分
・起床時刻	18時45分

問59 お子様の家事への参加状況をお教え下さい。(それぞれ1つに○)

・調理

	回答数	構成比
ア よくしている(週に数回以上)	16	7.7%
イ ときどき(週1回程度)	91	43.8%
ウ ほとんどしない	100	48.1%
無回答	1	0.5%
全体	208	100.0%

・食事の準備・後片付け

	回答数	構成比
ア よくしている	99	47.6%
イ ときどき(週1回程度)	61	29.3%
ウ ほとんどしない	42	20.2%
無回答	6	2.9%
全体	208	100.0%

問60 お子様と一緒に外食をされる頻度についてお聞かせ下さい。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 週に数回	3	1.4%
イ 週に1回程度	56	26.9%
ウ 月に1回程度	106	51.0%
エ 年に数回	41	19.7%
無回答	2	1.0%
全体	208	100.0%

問61 ビタミン剤などのサプリメント類をお子様に取りらせていますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 毎日取らせている	4	1.9%
イ たまに取りらせている	31	14.9%
ウ 取らせていない	172	82.7%
無回答	1	0.5%
全体	208	100.0%

問62 学校給食の食材についてのご意見をお聞かせ下さい。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 地元の食材を使用してほしい	25	12.0%
イ 有機や低農薬栽培の食材を使用してほしい	71	34.1%
ウ 米飯など和食中心にしてほしい	13	6.3%
エ 緑黄色野菜など栄養面で気を使ってほしい	82	39.4%
オ その他	9	4.3%
無回答	8	3.8%
全体	208	100.0%

問63 子供に対する食育は、全般的にどのくらい重要だと思いますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 重要	132	63.5%
イ まあ重要	66	31.7%
ウ どちらともいえない	8	3.8%
エ それほど重要でない	1	0.5%
オ 重要でない	0	0.0%
無回答	1	0.5%
全体	208	100.0%



問64 子供に対する以下の食育については、どのくらい重要だと思いますか。

(それぞれ1つに○)

		重要	まあ重要	それほど重要でない	重要でない	無回答	全体
・食生活の改善	回答数	120	77	5	0	6	208
	構成比	57.7%	37.0%	2.4%	0.0%	2.9%	100.0%
・食事の作法	回答数	137	60	6	0	5	208
	構成比	65.9%	28.8%	2.9%	0.0%	2.4%	100.0%
・農林漁業体験	回答数	48	127	28	1	4	208
	構成比	23.1%	61.1%	13.5%	0.5%	1.9%	100.0%
・食文化や伝統の継承	回答数	45	131	25	2	5	208
	構成比	21.6%	63.0%	12.0%	1.0%	2.4%	100.0%
・食を通じたコミュニケーション	回答数	90	99	12	0	7	208
	構成比	43.3%	47.6%	5.8%	0.0%	3.4%	100.0%
・食べ物の無駄を減らす	回答数	156	45	3	0	4	208
	構成比	75.0%	21.6%	1.4%	0.0%	1.9%	100.0%
・自然や生産者への感謝	回答数	152	49	2	0	5	208
	構成比	73.1%	23.6%	1.0%	0.0%	2.4%	100.0%

問65 仮に、あなたが長ネギを買いに行った時、以下のような長ネギが売られていたとします。あなたは、どの長ネギを購入しますか。なお、値段は太めの長ネギ3本あたりの価格です。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 地元産 (250円)	233	18.5%
イ 減農薬栽培 (250円)	224	17.7%
ウ 国産標準栽培 (200円)	536	42.5%
エ 輸入品 (100円)	68	5.4%
オ 有機栽培 (280円)	151	12.0%
無回答	50	4.0%
全体	1,262	100.0%

問66 もし、上で選んだ長ネギが売り切れていたら、次はどの長ネギを選びますか。(1つに○)

	回答数	構成比
ア 地元産 (250円)	416	33.0%
イ 減農薬栽培 (250円)	391	31.0%
ウ 国産標準栽培 (200円)	225	17.8%
エ 輸入品 (100円)	43	3.4%
オ 有機栽培 (280円)	133	10.5%
無回答	54	4.3%
全体	1,262	100.0%

問67 それぞれの長ネギの安全性についてどう思いますか。以下のア～オそれぞれについて、該当すると思われる数字に○を1つ付けて下さい。

ア 地元産	回答数	構成比		回答数	構成比
1 きわめて危険	1	0.1%	7 安全	275	21.8%
2 かなり危険	4	0.3%	8 かなり安全	62	4.9%
3 危険	10	0.8%	9 きわめて安全	27	2.1%
4 やや危険	33	2.6%	無回答	88	7.0%
5 どちらともいえない	434	34.4%			
6 やや安全	328	26.0%	全体	1,262	100.0%

イ 減農薬栽培	回答数	構成比		回答数	構成比
1 きわめて危険	0	0.0%	7 安全	330	26.1%
2 かなり危険	0	0.0%	8 かなり安全	156	12.4%
3 危険	10	0.8%	9 きわめて安全	29	2.3%
4 やや危険	29	2.3%	無回答	95	7.5%
5 どちらともいえない	173	13.7%			
6 やや安全	440	34.9%	全体	1,262	100.0%

ウ 国産標準品	回答数	構成比		回答数	構成比
1 きわめて危険	1	0.1%	7 安全	200	15.8%
2 かなり危険	2	0.2%	8 かなり安全	18	1.4%
3 危険	22	1.7%	9 きわめて安全	6	0.5%
4 やや危険	89	7.1%	無回答	100	7.9%
5 どちらともいえない	485	38.4%			
6 やや安全	339	26.9%	全体	1,262	100.0%

エ 輸入品	回答数	構成比		回答数	構成比
1 きわめて危険	209	16.6%	7 安全	6	0.5%
2 かなり危険	192	15.2%	8 かなり安全	0	0.0%
3 危険	298	23.6%	9 きわめて安全	6	0.5%
4 やや危険	285	22.6%	無回答	102	8.1%
5 どちらともいえない	157	12.4%			
6 やや安全	7	0.6%	全体	1,262	100.0%

オ 有機栽培	回答数	構成比		回答数	構成比
1 きわめて危険	1	0.1%	7 安全	347	27.5%
2 かなり危険	2	0.2%	8 かなり安全	277	21.9%
3 危険	4	0.3%	9 きわめて安全	118	9.4%
4 やや危険	19	1.5%	無回答	98	7.8%
5 どちらともいえない	153	12.1%			
6 やや安全	243	19.3%	全体	1,262	100.0%



## 付録 調査票

# 「食育」に関する市民アンケート調査 ご協力のお願ひ

日頃より、市民の皆様には松戸市政にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、松戸市では市民の皆様には「食」の大切さと郷土の素晴らしさを知っていただき、健康な生活を送っていただくため、現在、松戸市食育推進委員会を設け、松戸市の「食育推進計画」の策定へむけて議論を行っております。

そこで、松戸市としてより総合的に食育を推進するため、松戸市は市内の4大学(千葉大学、聖徳大学、流通経済大学、日本大学松戸歯学部)と連携し、共同で市民の皆様への食に関するお考えや家庭での環境などをお聞きし、今後の食育推進計画の策定や施策へ反映させることを目的に、本調査を実施することといたしました。

なお、この調査票は、住民基本台帳をもとに20歳以上の方々から無作為に抽出させていただいた3,000名の市民の皆様にお送りさせていただきました。市の食育推進および学術目的に利用するのみで、他の用途には使用いたしません。また、皆様のご回答は全て統計的に処理されますので、個人の情報を公表するなどプライバシーを侵害することはありません。

以上の趣旨をご理解いただき、市民の皆様には本調査へのご協力をよろしくお願ひいたします。

平成19年10月

松戸市長 川井 敏久

## ご記入にあたっての注意

- この調査は、普段、食材を購入したり、料理を作られている方にお願ひするものです。もし、宛名の方以外の方(配偶者など)が主に担当されていらっしゃる場合は、その方が記入して下さい。
- 後半のお子様についての質問には、複数のお子様がいいらっしゃる場合は、もっとも年齢の低いお子様(ただし、小学生以上)についてご回答下さい。
- ご記入が済みましたら、お手数ですがこの調査票(直接記入して下さい)を同封の返信用封筒に入れて返送して下さい。切手は不要です。匿名式調査ですので差出人の記入も不要です。
- 誠に勝手ながら、平成19年10月31日(水)までにご投函下さいますようお願いいたします。

\* 記入上のご不明な点、調査のお問い合わせは、下記までお願ひいたします。

・松戸市健康福祉本部企画管理室食育担当  
電話：047-366-7350/FAX：047-360-1295  
Eメール：[mckenkikaku@city.matsudo.chiba.jp](mailto:mckenkikaku@city.matsudo.chiba.jp)

・千葉大学園芸学部・助教  
霜浦森平(しもうらしんぺい)  
電話・FAX：047-308-8915  
Eメール：[shimoura@faculty.chiba-u.jp](mailto:shimoura@faculty.chiba-u.jp)

## 食事バランスガイド





平成 17 年 6 月、国会で「食育基本法」が成立しました。この法律では、食育は、生きる上での基本であって、教育の三本の柱である知育、徳育、体育の基礎となるべきものと位置付けられるとともに、様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する力を修得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるものとして食育の推進が求められるとされています。そして、このような食育の推進に当たっては、健全な食生活の実践としての単なる食生活の改善にとどまらず、食に関する感謝の念と理解を深めることや、伝統のある優れた食文化の継承、地域の特性を生かした食生活に配慮すること等が求められています。

問1 あなたは「食育」という言葉やその意味を知っていましたか？(ア～ウのうち、該当する 1 つに○)

- ア 言葉も意味も知っていた                      イ 言葉は知っていたが、意味は知らなかった  
ウ 言葉も意味も知らなかった

問2 あなたは「食育」に関心がありますか？ それとも関心がありませんか？(1 つに○)

- ア ある              イ どちらかといえばある              ウ どちらかといえばない              エ ない              オ 分からない

→問3 「ア」、「イ」と答えた方にお聞きます。食育に関心がある理由は何ですか？(3 つまで○)

- ア 心身の健全な発育              イ 食生活の乱れ              ウ 肥満・痩せの増加              エ 生活習慣病  
オ 食の安全確保              カ 食文化や地域の伝統              キ 食料自給率低下              ク 生産者との交流  
ケ 自然と調和した食料生産              コ 食べ物の無駄              サ 食や自然に対する感謝              シ その他

問4 食育に関するボランティアに参加したことがありますか？(1 つに○)

- ア ある              イ ないが、機会があれば参加してみたい              ウ 興味がない

→問5 「イ」と答えた方にお聞きます。どのような活動に参加してみたいですか？(3 つまで○)

- ア 郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動              イ 農林漁業などに関する体験活動  
ウ 食生活の改善に関する活動              エ 生活習慣病予防などのための料理教室  
オ 食品廃棄や食品リサイクルに関する活動              カ 食品の安全や表示に関する活動  
キ 食育に関する国際交流活動              ク その他( \_\_\_\_\_ )              ケ 分からない

問6 あなたは朝食をどの程度の頻度で取っていますか？(1 つに○)

- ア 毎日取っている              イ 平日のみ              ウ 週に2～3日              エ ほとんど取らない

問7 このアンケートの表紙にある食事バランスガイドを参考に食生活を送っていますか？(1 つに○)

- ア 参考にしている              イ まあまあ参考にしている  
ウ 知っているが参考にはしていない              エ 知らなかった



伝統的な行事と行事食の一般的な例示として、次のようなものがあります。

- ・正月（1月：おせち、お雑煮、七草粥など）
- ・桃の節句（3月：ひな菓子、五目ずしなど）
- ・端午の節句（5月：ちまき、かしわ餅など）
- ・土用（7月：うなぎ、もちなど）
- ・十五夜（9月：月見団子など）
- ・七五三（11月：千歳飴など）
- ・大晦日（12月：そばなど）
- ・節分（2月：まめなど）
- ・春分の日（3月：ぼた餅など）
- ・七夕（7月：素麺など）
- ・お盆（8月：団子など）
- ・秋分の日（9月：おはぎなど）
- ・冬至（12月：かぼちゃ料理など）

問8 ご自宅で行事食を伴う伝統的な行事を年間にどの程度行なっていますか？（1つに○）

- ア 全く行わない    イ 1～2回    ウ 3～4回    エ 5～6回    オ 7回以上

問9 冷凍食品の利用状況についてお聞かせ下さい。（1つに○）

- ア 普段の食事に積極的に利用している    イ 時々利用している  
ウ お弁当などにのみ利用している    エ あまり利用しない    オ ほとんど利用しない

問10 食品を購入するときに、もっとも気をつけていることは何ですか。（1つに○）

- ア 栄養面    イ 安全性    ウ 味や好み    エ 食費    オ 料理の手間

問11 野菜や肉などの生鮮食品の購入時に産地はチェックしていますか？（1つに○）

- ア 常にしている    イ ときどきしている    ウ していない

問12 地元産の食材を購入していますか？（1つに○）

- ア 積極的に購入するようにしている    イ 目に付けば購入するようにしている  
ウ 少しでも高ければ購入しない    エ 地元かどうか気にしていない

問13 あなたは食品の安全性に関する基礎的な知識を持っていますか？（1つに○）

- ア 持っている    イ まあ持っている    ウ どちらともいえない  
エ あまり持っていない    オ 持っていない

問14 普段、生鮮食品は主にどこで購入していますか？（1つに○）

- ア スーパー    イ 生協(店舗・共同購入)    ウ 各種通販・宅配    エ デパート  
オ 八百屋や精肉店    カ コンビニ    キ その他(\_\_\_\_\_)

問15 子供達への食育の場として、学校と家庭とではどちらが重要だと思いますか？（1つに○）

- ア 学校の方    イ やや学校の方    ウ 同じぐらい    エ やや家庭の方    オ 家庭の方

内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)とは、「内臓脂肪が蓄積することによって、血圧、血糖が高くなったり、血中の脂質異常をおこしたりして、食事や運動などの生活習慣を改善しなければ心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態」のことです。

問16 あなたは、メタボリックシンドロームという言葉やその意味を知っていましたか？(1つに○)

- ア 言葉も意味も良く知っていた
- イ 言葉も知っていたし、意味も大体知っていた
- ウ 言葉は知っていたが、意味はあまり知らなかった
- エ 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
- オ 言葉も意味も知らなかった

問17 あなたご自身はメタボリックシンドロームに該当すると思いますか？(1つに○)

- ア 該当する
- イ 予備群である
- ウ 該当しない
- エ 分からない

問18 あなたは散歩や水泳など、定期的に運動をしていますか？(1つに○)

- ア 毎日している
- イ 週に数回している
- ウ 週に1回程度
- エ あまりしていない

問19 あなたの歯の数は現在何本ですか？なお、成人の歯は、親知らずが4本はえて全部で32本です。なお、かぶせた歯(金歯、銀歯など)、さし歯、根だけ残っている歯は含みますが、入れ歯などの歯根がない部分は除きます。(括弧内に本数を数字でご記入下さい)

( )本

問20 あなたは入れ歯を使用していますか？(1つに○)

- ア はい
- イ いいえ

問21 あなたの現在のお口の全体的な健康状態はどうですか？(1つに○)

- ア よい
- イ まあよい
- ウ あまりよくない
- エ よくない

問22 前回、いつ歯科治療を受けましたか？(数を記入)

およそ( )年( )ヶ月前

問23 この1年間に歯の健康診査を受けましたか？(1つに○)

- ア 受けない
- イ 受けた

→問24 「イ」と答えた方にお聞きします。どのような理由で受診しましたか？(1つに○)

- ア 定期的に受けているから
- イ 歯科治療のついでに
- ウ 職場や保健センターなどで受ける機会があったから
- エ その他( )

問25 あなたのお口の健康状態について以下の質問に回答ください。(それぞれ1つに○)

- |                         |        |        |        |
|-------------------------|--------|--------|--------|
| ・歯ぐきが腫れることがありますか？       | ア はい   | イ いいえ  |        |
| ・歯が痛んだり、しみたりすることがありますか？ | ア はい   | イ いいえ  |        |
| ・かかりつけの歯医者さんはいますか？      | ア はい   | イ いいえ  |        |
| ・歯の治療は早めに受けるようにしていますか？  | ア はい   | イ いいえ  |        |
| ・歯ぐきから血が出ることがありますか？     | ア はい   | イ いいえ  |        |
| ・口臭が強い(ある)という自覚はありますか？  | ア はい   | イ いいえ  |        |
| ・たばこを吸いますか？             | ア はい   | イ いいえ  |        |
| ・代用甘味料使用の食品を好んで飲食しますか？  | ア はい   | イ いいえ  |        |
| ・知人や友人とよく食事をしますか？       | ア はい   | イ いいえ  |        |
| ・歯磨きを1日何回しますか？          | ア 1回   | イ 2回   | ウ 3回以上 |
| ・間食は1日何回とりますか？          | ア 0～1回 | イ 2～3回 | ウ 4回以上 |

問26 食事がおいしいと感じていますか？(1つに○)

- ア とてもおいしい    イ おいしい    ウ あまりおいしくない    エ おいしくない

問27 以下の食品について嚙(か)みにくいのはどれですか？(該当するもの全てに○)

- |              |             |             |             |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. スープ       | 2. おかゆ      | 3. とうふ      | 4. プリン      |
| 5. ごはん       | 6. 煮魚       | 7. はんぺん     | 8. うなぎかばやき  |
| 9. まぐろのさしみ   | 10. おこわ     | 11. ちくわ     | 12. 固いビスケット |
| 13. かまぼこ     | 14. こんにゃく   | 15. ハム      | 16. いかのさしみ  |
| 17. フランスパン   | 18. ビフテキ    | 19. とり貝     | 20. おこし     |
| 21. なまこ      | 22. するめ     | 23. いか      | 24. らっきょう   |
| 25. 貝柱の干物    | 26. 酢だこ     | 27. くらげの酢の物 | 28. ピーナッツ   |
| 29. 雑煮もち     | 30. 生あわび    | 31. たくわん    | 32. 堅焼きせんべい |
| 33. チューイングガム | 34. りんご丸かじり | 35. みかんの袋   |             |

問28 以前に比べて、(1人当たりの)家庭ごみを出す量は変わりましたか？(1つに○)

- ア 増えている    イ 少し増えている    ウ 変わらない    エ 少し減っている    オ 減っている

問29 普段、「燃やせるごみ」は1週間に何袋ぐらい出していますか？(1つに○)

- ア 0袋    イ 1～2袋    ウ 3～4袋    エ 5～6袋    オ 7～8袋    カ 9袋以上

問30 買い物袋は持参しますか？(1つに○)

- ア 常に持参する    イ たまに持参する    ウ あまり持参しない    エ 持参しない

問31 あなたは生ごみ処理容器(コンポスト)等を使用していますか？(1つに○)

- ア 使用している    イ 持っているが使っていない    ウ ほしいと思っている    エ 持っていない

→問32 持っている方にお聞きます。購入の際に市の補助金制度を利用しましたか？(1つに○)

- ア 利用した    イ 知っていたが利用していない    ウ 知らなかった

問33 あなたと配偶者の家を出る時間と帰宅時刻を教えてください。(それぞれ時刻を記入)

- ・あなた(働いている場合)の家を出る時刻 : (午前・午後 \_\_\_\_\_ ) 時ごろ  
帰宅時刻 : (午前・午後 \_\_\_\_\_ ) 時ごろ
- ・配偶者(いらっしゃる場合)の家を出る時刻 : (午前・午後 \_\_\_\_\_ ) 時ごろ  
帰宅時刻 : (午前・午後 \_\_\_\_\_ ) 時ごろ

問34 あなたは地域の活動に参加していますか?(1つに○)

- ア 積極的に参加      イ まあ積極的      ウ やや消極的      エ 参加していない

問35 旅行やキャンプなどで、家族や友人と農山漁村へ行くことはありますか?(1つに○)

- ア ほぼ毎週      イ 月に数回      ウ 月に1回程度      エ 年に数回      オ あまり行かない

問36 あなたは趣味として、野菜や果物の栽培などの農作業をすることはありますか?(1つに○)

- ア ない      イ ある → 問37 農作業の場所はどのようなところですか?(該当場所全てに○)

- ア 自宅の庭      イ ベランダや屋内      ウ 自家所有の畑  
エ 市民農園や知り合いの畑      オ その他(\_\_\_\_\_)

→ 問38 だれと一緒に作業していますか?(該当者全てに○)

- ア 配偶者      イ 子供      ウ 孫      エ 友人・知人      オ 自分ひとり  
カ 親      キ 祖父母      ク その他(\_\_\_\_\_)

問39 食育に関して市に期待する施策は何ですか?(3つまで○)

- ア 食と健康に関する市民講座や教室を開催する
- イ 学校給食で地元農産物の利用を促進する
- ウ 直売所など地元産農産物を購入できる場所を整備する
- エ 市民参加型の体験農園などを増やす
- オ 学校・幼稚園などでの作物栽培・料理の機会を増やす
- カ 食品廃棄の削減や食品リサイクルに関する活動に取り組む
- キ 郷土料理、伝統料理などの優れた食文化の継承に取り組む
- ク とくにない
- ケ その他(具体的に \_\_\_\_\_ )

ここからは、統計的に処理するため、あなたご自身のことについて、お聞きします。

問40 あなたの性別は次のどちらですか？(1つに○)

ア 女性      イ 男性

問41 あなたの年齢は次のどれに該当しますか？(1つに○)

ア 20歳代      イ 30歳代      ウ 40歳代      エ 50歳代      オ 60歳以上

問42 配偶者(妻、または夫)はおられますか？(1つに○)

ア いる      ウ いない

問43 あなたは松戸市に住むようになっておよそ何年になりますか？(1つに○)

ア 5年未満      イ 5～10年未満      ウ 10～20年未満      エ 20～30年未満      オ 30年以上

問44 あなたがお住まいの地域は以下のどれに該当しますか？(1つに○)

ア 住宅地      イ 商業地・工業地      ウ 農村地域

問45 あなたの主な職業は次のどれに該当しますか？(1つに○)

ア 会社員      イ 公務員・団体職員      ウ 自営業      エ 農業      オ パート・アルバイト  
カ 専業主婦(夫)      キ 学生      ク 無職      ケ その他(\_\_\_\_\_)

問46 同居家族の年齢別人数についてお聞きします。(イの場合は、あなたを除いた人数を記入)

- ・ 0～5歳      :   ア いない      イ いる : (\_\_\_\_) 人
- ・ 6～14歳     :   ア いない      イ いる : (\_\_\_\_) 人
- ・ 15～19歳    :   ア いない      イ いる : (\_\_\_\_) 人
- ・ 20～64歳    :   ア いない      イ いる : (\_\_\_\_) 人
- ・ 65歳以上    :   ア いない      イ いる : (\_\_\_\_) 人

問47 あなたの世帯では何世代が同居していますか？(1つに○)

ア 一人暮らし   イ 夫婦のみ      ウ 二世世代家族   エ 三世世代家族   オ 四世代以上

ここでは、小学生から高校生までのお子様のいらっしゃる方に、お聞きします。該当しない方は、最後のページへお進み下さい。

問48 お子様の食事についておうかがいします。お子様が複数いらっしゃる場合は、一番下のお子様についてお答え下さい(ただし、小学生以上)。本日が週末の場合は、平日の金曜日の朝夕食の内容をお願いします。

・今日の朝食(1つに○): ア 取った イ 取っていない ウ 分からない

→内容(飲みものを含む): ( ) ( ) ( ) ( ) ( )

・昨日の夕食(1つに○): ア 取った イ 取っていない ウ 分からない

→内容(飲みものを含む): ( ) ( ) ( ) ( ) ( )  
( ) ( ) ( ) ( ) ( )

問49 そのお子様は誰と一緒に食べていましたか?(それぞれ該当する者全てに○)

・朝食 : ア ひとりで イ 父 ウ 母 エ 兄妹 オ 祖父母 カ その他 キ 分からない

・夕食 : ア ひとりで イ 父 ウ 母 エ 兄妹 オ 祖父母 カ その他 キ 分からない

問50 そのお子様はどこで食べていましたか?(それぞれ1つに○)

・朝食 :ア 居間・ダイニング イ 子供部屋 ウ 外食 エ その他 オ 分からない

・夕食 :ア 居間・ダイニング イ 子供部屋 ウ 外食 エ その他 オ 分からない

問51 どの程度時間をかけていましたか?(それぞれ1つに○)

・朝食 : ア 5分以下 イ 10分程度 ウ 20分程度 エ 30分以上 オ 分からない

・夕食 : ア 10分以下 イ 15分程度 ウ 30分程度 エ 45分以上 オ 分からない

問52 あなたのお子様の食は乱れているとお考えですか?(1つに○)

ア 乱れてはいない イ それほど乱れてはいない ウ どちらともいえない

エ やや乱れている オ 乱れている

→問53 「エ」「オ」と答えた方にお聞きします。どのような点で食事の乱れを感じますか?(1つに○)

ア 食が細い イ 好き嫌いが激しい ウ 間食が多い

エ 家族と一緒に食事を取っていない オ ゆっくり食事を取っていない

問54 子供部屋はありますか?(1つに○)

ア 個人用の部屋がある イ 兄妹で共用させている ウ ない



問64 子供に対する以下の食育については、どのくらい重要だと思いますか？(それぞれ 1 つに○)

- ・食生活の改善:           ア 重要   イ まあ重要   ウ それほど重要でない   エ 重要でない
- ・食事の作法:           ア 重要   イ まあ重要   ウ それほど重要でない   エ 重要でない
- ・農林漁業体験:       ア 重要   イ まあ重要   ウ それほど重要でない   エ 重要でない
- ・食文化や伝統の継承:   ア 重要   イ まあ重要   ウ それほど重要でない   エ 重要でない
- ・食を通じたコミュニケーション: ア 重要   イ まあ重要   ウ それほど重要でない   エ 重要でない
- ・食べ物の無駄を減らす:   ア 重要   イ まあ重要   ウ それほど重要でない   エ 重要でない
- ・自然や生産者への感謝: ア 重要   イ まあ重要   ウ それほど重要でない   エ 重要でない

最後に、市民の農産物の購買行動を把握するため、仮想的な状況での質問をさせていただきます。

問65 仮に、あなたが長ネギを買いに行った時、以下のような長ネギが売られていたとします。あなたは、どの長ネギを購入しますか？なお、値段は太めの長ネギ3本あたりの価格です。(1つに○)

- ア 地元産  
(250 円)
- イ 減農薬栽培  
(250 円)
- ウ 国産標準栽培  
(200 円)
- エ 輸入品  
(100 円)
- オ 有機栽培  
(280 円)

問66 もし、上で選んだ長ネギが売り切れていたら、次はどの長ネギを選びますか？(1つに○)

- ア 地元産  
(250 円)
- イ 減農薬栽培  
(250 円)
- ウ 国産標準栽培  
(200 円)
- エ 輸入品  
(100 円)
- オ 有機栽培  
(280 円)

問67 それぞれの長ネギの安全性についてどう思いますか？以下のア～オそれぞれについて、該当すると思われる数字に○を1つ付けて下さい。

	きわめて危険	かなり危険	危険	やや危険	どちらともいえない	やや安全	安全	かなり安全	きわめて安全
ア 地元産:	1---2---3---4---5---6---7---8---9								
イ 減農薬栽培:	1---2---3---4---5---6---7---8---9								
ウ 国産標準品:	1---2---3---4---5---6---7---8---9								
エ 輸入品:	1---2---3---4---5---6---7---8---9								
オ 有機栽培:	1---2---3---4---5---6---7---8---9								

問68 最後に、食育について市や大学にご意見やご要望がございましたら、ご自由にご記入下さい。

以上で質問は終了です。ありがとうございました。同封の封筒で 10 月 31 日までにご投函下さい。



**食育に関する市民アンケート調査報告書**

**平成 20 年 3 月**

調査 分析 千葉大学大学院園芸学研究科

日本大学松戸歯学部

編集 発行 松戸市健康福祉本部企画管理室